

令和2年版

消防年報



網走地区消防組合

(令和3年刊行)

は し が き

1. この年報は、網走地区消防組合における消防現勢及び令和2年度中の消防業務の諸資料並びに火災統計等を収録し、消防事情を紹介し、今後の消防行政執行上の参考とすることを目的として、編集したものです。
2. この年報は、特記するものを除き、令和3年4月1日現在で収録したもののですが、火災統計、救急統計及び建築確認申請については、令和2年1月より令和2年12月までのものを収録してあります。

令和3年6月

網走地区消防組合消防本部

目 次

位置及び管内図	1
消防力等総括表	2
総務・警防	
消防庁舎の現況	3
沿革	4
消防組合機構図	21
組合予算	22
消防職員配置状況	24
消防団員配置状況	26
前年度研修状況	28
消防車両保有状況	29
可搬式動力ポンプ現況	31
消防資器材保有状況	32
消防水利施設現況	33
火災統計	
火災概況	34
原因別火災件数	35
月別火災件数	36
月別気象状況	37
過去10年間の推移	38
組合発足以降の主な火災	39
救急・救助	
救急体制	44
出場件数及び搬送人員	45
年齢・発生場所別搬送人員	46
月別救急業務実施状況	48
既往5ヶ年救急活動状況	49
既往5ヶ年救助活動状況	50
予防・危険物	
危険物施設数	51
防火対象物現況	52
中高層建築物の現況	53
月別建築同意処理状況	54
用途別建築同意処理状況	55
消防用設備等の検査状況	56
防火管理講習受講状況	57
自主防災組織	
自主防災組織沿革及び組織図	58
防火クラブ現況	59
通信施設	
消防救急デジタル無線系統図	60
消防緊急通信指令システム構成図（網走消防署）	62
消防緊急通信指令システム構成図（大空消防署）	63
網走市緊急通報システム（ふれあいコール）の概要	64
網走市緊急通報システム（ふれあいコール）のしくみ	65
網走市緊急通報システム（ふれあいコール）の受信状況	66

網走地区消防組合位置図及び管内図

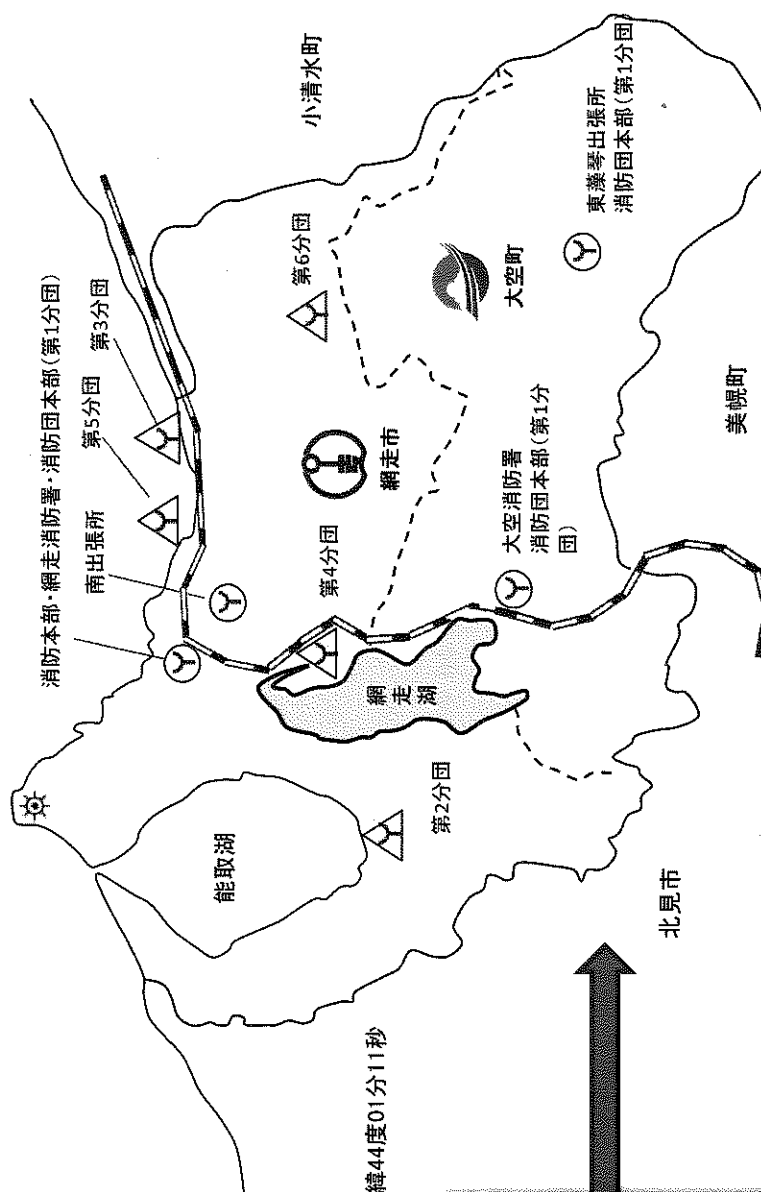
○ 面積・人口・世帯数

	網走市	大空町	合 計
面 積	471.00	343.66	814.66
27年国調人口	39,077	7,360	46,437
住 基 人 口	33,832	6,905	40,737
住 基 世 帯	17,863	3,022	20,885

※ 面積の単位:km²

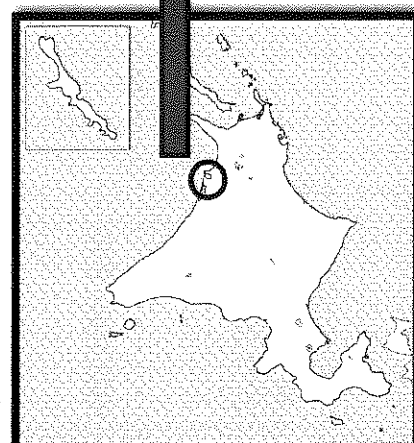
住基人口・住基世帯は、令和3年3月31日現在

オホーツク海



○位置(消防本部)東経144度15分56秒・北緯44度01分11秒

○広ぼう 東西 約50km・南北 約45km



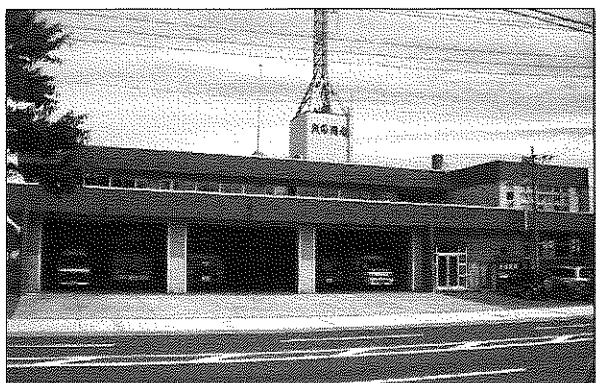
1表 網走地区消防組合の消防力等総括

構成市町村		市-1	面積		27年国勢調査人口		令和3年3月31日住基人口		令和3年3月31日住基世帯			
		町-1	814.66km ²		46,437人		40,737人		20,885世帯			
消防本部・署等		消防本部の数		職員		消防吏員	消防団		消防団数	3		
		消防署の数		1本部	105名	分団数			9			
		出張所の数		2署	0名	消防団員数			355名			
				2所	105名	条約定員数	417名					
構成市町 一般会計予算額		33,225,139千円		普通ポンプ自動車		無線		基地局	2局	火災総件数	21件	
				大型水槽車				固定局	21局	うち建物火災	10件	
				水槽付消防ポンプ自動車		8台		陸上移動局		78局	建物焼損面積	883㎡
				はしご付消防ポンプ自動車		1台				火災による損害額	50,175千円	
組合予算額		1,252,750千円		化学消防自動車		消防水利		消火栓	394基	救急出場件数	1,714件	
				救急自動車		2台		私設	2基			
				指令車		5台		40m ³ 以上	112基			
				救助工作車		1台		40m ³ 未満	28基			
人口1人当りの予算額 (令和3年3月31日 住基人口)		30,361円		小型動力ポンプ積載車		自主防災組織		団体数	24団体	うち急病	1,084件	
				その他の車両		9台		幼年消防クラブ総人員	827名	うち交通事故	59件	
				計		48台		少年消防クラブ総人員	44名	搬送人員	1,573名	
				小型動力ポンプ		15台		婦人防火クラブ総人員	126名			

総務 ・ 警防



消 防 庁 舎 の 現 況



消防本部・網走消防署

← 網走市南2条西4丁目2番地

(代)tel 0152-43-2221 fax 43-1100

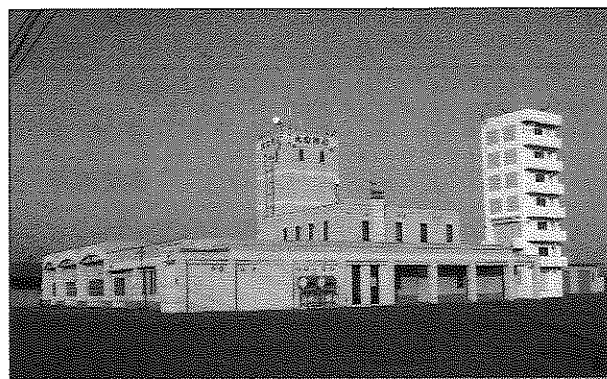
構 造	規 模
鉄筋コンクリート造	地下1階、地上2階建
一部ALC板張り鉄骨造	建築面積 898.551㎡
	延面積 1,712.068 ㎡

南出張所

網走市字潮見172番地4

tel 0152-43-3016 fax 45-1119

構 造	規 模
鉄筋コンクリート造	地上2階、一部3階建
	建築面積 976.33㎡
	延面積 1,198.33㎡



大空消防署

← 大空町女満別西3条4丁目1番5号

tel 0152-74-2619 fax 74-4479

構 造	規 模
鉄筋コンクリート造	地上2階建
	建築面積 699.655 ㎡
	延面積 1,050.216 ㎡



東藻琴出張所

大空町東藻琴360番地の1

tel 0152-66-3344 fax66-3345

構 造	規 模
鉄筋コンクリート造	地上2階建(1階部分のみ)
	建築面積 499.134 ㎡
	延面積 499.134 ㎡



沿 革

昭和46年11月

網走市、常呂町、女満別町、東藻琴村の1市2町1村で、次の機構により
一部事務組合として、「網走地区消防組合」発足する

* 組合機構

議 会

議 長	棟 方 敏 郎	(網走市議会議長)
副議長	長 良 仙 弥	(女満別町議会議長)
議 員	網 走 市	9名
	常 呂 町	3名
	女 満 別 町	3名
	東 藻 琴 村	2名
合 計		17名

執行機関

管 理 者	佐 藤 忠 吉	(網走市長)
副管理者	上 杉 武 雄	(常呂町長)
	吉 田 礼 元	(女満別町長)
	吉 田 三 伊	(東藻琴村長)
	町 田 耕 造	(網走市助役)
収 入 役	庄 田 剛	(網走市収入役)
監査委員		2名
公平委員		3名

消防本部・署

消防長(署長兼任)	遠 藤 実
消防本部	8名
消防署	46名
常呂分署	8名
女満別分署	7名
東藻琴分署	5名
合 計	74名

消 防 団

網走消防団	団 長	田 辺 林 蔵
	団 員	255名
常呂消防団	団 長	小 林 秀 明
	団 員	126名
女満別消防団	団 長	武 田 大 吉
	団 員	90名
東藻琴消防団	団 長	一 条 又 次
	団 員	72名
合 計		543名

	12月	東藻琴分署庁舎（会議室・車庫）増築
		東藻琴分署2名増員、7名とする。
昭和47年	1月	常呂分署1名増員、9名とする。
	4月	消防署2名増員、48名とする。
		女満別分署2名増員、9名とする。
		東藻琴分署1名増員、8名とする。
		積載車購入、常呂消防団第2分団に配置
	8月	積載車購入、東藻琴消防団第2分団に配置
	11月	積載車（ウィルスジープ）購入、網走消防団第2分団に配置
	12月	常呂分署及び女満別分署に無線局を開局
昭和48年	2月	消防本部1名増員、9名とする。
	3月	東藻琴分署に無線局を開局
	4月	消防本部2名増員、11名とする。
		消防署2名増員、50名とする。
		常呂分署2名増員、11名とする。
		小型動力ポンプ購入、常呂消防団第2分団に配置
	6月	網走ライオンズクラブより指令車の寄贈を受け「網走ライオンズ2世号」と命名、消防本部に配置
	7月	女満別分署長専任とする。
		女満別ライオンズクラブより指令車の寄贈を受け「女満別ライオンズ号」と命名、女満別分署に配置
	8月	救急自動車購入、常呂分署に配置
	11月	消防ポンプ自動車購入、女満別分署に配置
昭和49年	3月	木下木材工業株式会社より水槽付消防ポンプ自動車(2,500L)の寄贈を受け「木下号」と命名、消防署に配置
	4月	消防本部1名増員、12名とする。
		女満別消防団団長に北山武氏就任
		東藻琴分署1名増員、9名とする。
	5月	常呂分署1名増員、12名とする。
	6月	東藻琴消防団第2分団にサイレン設備設置
	9月	網走消防団第5分団詰所移転新築
	11月	常呂分署長専任とする。
	12月	管理者に安藤哲郎氏（網走市長）就任
		網走消防団第2分団詰所移転新築
昭和50年	3月	西網走農業協同組合より水槽付消防ポンプ自動車(2,000L)の寄贈を受け「西網走農協号」と命名、網走消防団第2分団に配置
	4月	女満別消防団分団を統合し、定員70名とする。
	5月	小型動力ポンプ購入、常呂消防団第4分団に配置
	6月	収入役に三 段崎正弘氏（網走収入役）、消防長に大西勇氏就任
	8月	消防署長に木村福造氏就任

昭和51年	9月	北海道共済農業協同組合連合会より救急車の寄贈を受け、女満別分署に配置
4月		女満別分署3名増員、12名とする。
	7月	ホテル オホーツク荘より予防広報査察車の寄贈を受け「ホテル・オホーツク荘号」と命名、消防本部に配置
	9月	水槽付消防ポンプ自動車(3,000L)及び救急自動車を購入、東藻琴分署に配置
	10月	網走消防団第7分団詰所移転新築
	12月	副管理者に小田島晃氏(網走市助役)、収入役に玉置文夫氏(網走市収入役)就任
昭和52年		消防署長に桜庭一桜氏就任
		新橋出張所を廃止し、南出張所を新築開設
		日本損害保険協会より救急自動車の寄贈を受け、消防署に配置
	1月	網走市新町1丁目旅館新橋火災(全焼、類焼3)重軽傷者5名
		土屋稔氏の寄付により人命救助器具を購入、消防署に配置
	2月	網走市南1条西1丁目網走水産冷蔵株式会社火災(全焼)
	3月	網走消防団第6分団を第1分団に統合。(以降昭和55年4月まで第6分団欠)
	4月	消防長に神谷孫一氏就任
		消防署2名増員、52名とする。
	5月	東藻琴村立明生小学校火災(全焼)
	7月	東藻琴ライオンズクラブより指令車の寄贈を受け「東藻琴ライオンズ号」と命名、東藻琴分署に配置
	8月	女満別空港で東亜国内航空機YS-11型機胴体着陸、死傷者なし。
	9月	小型動力ポンプ付積載車購入、網走消防団第7分団に配置
	10月	常呂ライオンズクラブより指令車の寄贈を受け「常呂ライオンズ号」と命名、常呂分署に配置
昭和53年		水槽付消防ポンプ自動車(3,000L)購入、消防署に配置
		小型動力ポンプ付積載車購入、東藻琴分署に配置
	12月	網走市南2条西3丁目網走セントラルホテルガス爆発事故。死者3名、重軽傷者12名
	4月	網走ライオンズクラブより指令車の寄贈を受け「網走ライオンズ3世号」と命名、消防本部に配置
		女満別消防団団長に富田定年氏就任
	7月	宮川漁業株式会社より消防ポンプ自動車の寄贈を受け「宮川号」と命名、網走消防団第1分団に配置
	8月	消防ポンプ自動車購入、網走消防団第1分団に配置
		消防署、第7回全国消防救助技術大会(はしご登はん1名)に出場、入賞する。
	9月	小型動力ポンプ積載車購入、女満別分署に配置
		水槽付消防ポンプ自動車(3,000L)購入、女満別分署に配置
	10月	女満別分署庁舎(車庫、当直室)増築
	12月	田中漁業部株式会社より小型動力ポンプ付大型水槽車(10,000L)の寄贈を

	受け「大雄号」と命名、消防署に配置
昭和54年 2月	田辺林蔵氏、丸田巖氏の寄付により市役所塔屋に消防用サイレンを設置
	網走市立嘉多山小中学校火災（2教室を残し焼失）
4月	消防署長に沢井清氏就任
	東藻琴分署長専任とする。
6月	副管理者に鈴木芳昭氏（東藻琴村長）就任
7月	女満別病院長、長佐古尚氏より指令車の寄贈を受け「長佐古号」と命名、女満別分署に配置
8月	消防ポンプ自動車購入、網走消防団第1分団に配置
9月	消防ポンプ自動車（4WD）購入、常呂消防団第1分団に配置
	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（2,000L）購入、女満別分署に配置
11月	常呂消防団団長に浦西三男氏就任
	東藻琴分署庁舎移転新築
12月	網走消防団第3分団詰所及び第4分団詰所移転新築
	日本自動車工業会より救急車の寄贈を受け、常呂分署に配置
昭和55年 1月	東藻琴消防団団長に八重樫正人氏就任
2月	山本智氏、中村勇氏より小型動力ポンプ積載車（ジープ）の寄贈を受け、「中村山本号」と命名、網走消防団第2分団に配置
4月	網走消防団第7分団を第6分団に改称する。
10月	消防ポンプ自動車購入、東藻琴分署に配置
12月	消防署に消防訓練塔（主塔、副塔）新設
昭和56年 4月	消防署2名増員、54名とする。
7月	北海道消防操法訓練大会において常呂消防団第4分団が小型ポンプ操法の部で優勝
	副管理者に斉藤秀信氏（常呂町長）就任
8月	東藻琴消防団第2分団格納庫新築
9月	小型動力ポンプ付大型水槽車（10,000L）購入、女満別分署に配置
昭和57年 3月	網走消防団団長に松井幸義氏就任
	消防ポンプ自動車購入、網走消防団第1分団に配置
6月	第34回北海道消防大会を網走市で開催
8月	小型動力ポンプ付大型水槽車（10,000L）購入、常呂分署に配置
11月	常呂消防団第2分団詰所移転新築
昭和58年 3月	日本損害保険協会より救急自動車の寄贈を受け、消防署に配置
	小型動力ポンプ付大型水槽車（10,000L）購入、東藻琴分署に配置
4月	消防署長に渡辺武氏就任
	東藻琴分署1名増員、10名とする。
	本部に次長制を導入、次長に武田栄氏、露口功氏（兼常呂分署長）、岩原義久氏（兼女満別分署長）、青木伸長氏（兼東藻琴分署長）就任
9月	小型動力ポンプ付大型水槽車（10,000L）購入、消防署に配置
10月	東藻琴消防団、優良消防団として、北海道より表彰旗を授与される。

12月	次長に小鹿潔氏（兼女満別分署長）就任
昭和59年2月	女満別消防団、優良消防団として、日本消防協会より表彰旗を授与される。 常呂消防団団長、浦西三男氏に日本消防協会から功績章を授与される。
5月	島田建設株式会社より指令車の寄贈を受け、消防本部に配置
8月	網走地区危険物安全協会より査察広報車の寄贈を受け、消防本部に配置 消防署、第13回全国消防救助技術大会（ロープ応用登はん1組）に出場、 入賞する。
9月	小林俊彦氏より常呂消防団旗の寄贈を受ける。 網走消防団旗を新規に調製
10月	副管理者に神谷孫一氏（網走市助役）、収入役に横田徹氏（網走市収入役） 就任 消防長に中村寿氏就任 水槽付消防ポンプ自動車（3,000L）購入、常呂分署に配置
11月	財団法人日本防火協会より防火広報車の寄贈を受け、東藻琴分署に配置
12月	網走消防団第1分団詰所新築
昭和60年1月	常呂漁業協同組合より指令車の寄贈を受け「常呂漁業協同組合号」と命名、 常呂分署に配置
2月	常呂消防団、優良消防団として、日本消防協会より表彰旗を授与される。
3月	日本損害保険協会より救急自動車の寄贈を受け、女満別分署に配置 天都山自動無線中継所完成し開局
4月	女満別分署1名増員、13名とする。 美幌地区危険物安全協会より女満別分署にミニバイク（50cc）1台が寄贈 される。
8月	小型動力ポンプ付積載車購入、常呂消防団第3分団に配置 日本損害保険協会より救助工作車の寄贈を受け、消防署に配置 日本消防協会より救急自動車の寄贈を受け、消防署に配置 消防署、第14回全国消防救助技術大会（高所人命救助、ロープブリッジ救 出各1組）に出場、入賞する。
10月	東藻琴消防団員の篤志により3B型救急自動車を購入、東藻琴分署に配置
11月	常呂消防団第3分団詰所移転新築 女満別分署庁舎新築落成、通信指令装置（NEC・3D-201E・C型）導入運用開 始
12月	富田定年氏より女満別消防団旗の寄贈を受ける。
昭和61年3月	消防署、救急指令装置（JRC電子式・B型）・消防団緊急伝達システムを導入 運用開始 網走消防団、優良消防団として、消防庁長官から竿頭綬を授与される。 常呂消防団団長、浦西三男氏に消防庁長官から永年勤続功労章を授与される。
7月	第1回「母と子の防火大会」を網走市で開催
9月	東藻琴消防団第2分団サイレン塔及びサイレン新設
10月	マイクロバス（定員29名）購入、常呂分署に配置

昭和62年	3月	網走消防団第5分団詰所移転新築 東藻琴分署通信指令装置（ACE-12K）運用開始 小型動力ポンプ付大型水槽車（10,000L）購入、東藻琴分署に配置
	4月	副管理者に横田徹氏（網走市助役）就任 収入役に三代川幹夫氏（網走市収入役）就任 組合議員定数を2名減（網走）、15名とする。
	5月	副管理者に岩原市男氏（女満別町長）就任
	7月	次長に久野明氏（兼東藻琴分署長）就任
	8月	消防署、第16回全国消防救助技術大会（ロープ応用登はん1組）に出場、入賞する。
	10月	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（3,000L）購入、消防署に配置 化学消防ポンプ自動車Ⅲ型（水2,500L・薬液1,200L）購入、女満別分署に配置
	11月	常呂消防団団長に野辺真一氏就任
	12月	湊自動車工業株式会社より査察広報車の寄贈を受け、消防署に配置 東藻琴消防カルチャーセンター新築
昭和63年	3月	網走消防団団長、松井幸義氏に日本消防協会から特別功労章を授与される。 常呂消防団団長、野辺真一氏に日本消防協会から功績章を授与される。 常呂消防団、優良消防団として、消防庁長官から竿頭綬を授与される。
	4月	次長に武田満雄氏（兼女満別分署長）就任 網走消防団団長に鎌田誠二郎氏就任
	6月	ミニ消防車を制作「わんぱく君」と命名、消防署に配置
	7月	八重樫正人氏より東藻琴消防団旗の寄贈を受ける。 北海道消防操法訓練大会において東藻琴消防団がポンプ車操法の部で準優勝 女満別ライオンズクラブより広報車の寄贈を受け「女満別ライオンズ号」と命名、女満別分署に配置
	8月	消防署、第17回全国消防救助技術大会（高所人命救助1組）に出場、入賞する。
	9月	消防団活性化総合整備事業により、消防団災害機材運搬車（4WD）購入、東藻琴消防団第2分団に配置 救助資機材（油圧スプレッダー、カッター）購入、消防署に配置
	10月	消防団活性化総合整備事業により、消防団指揮広報運搬車購入、東藻琴消防団第1分団に配置 小型動力ポンプ付積載車購入、常呂消防団第4分団に配置
	12月	常呂消防団第4分団詰所移転新築
平成元年	3月	女満別消防団、優良消防団として、消防庁長官から竿頭綬を授与される。 渡辺清氏より指令車の寄贈を受け「渡辺号」と命名、女満別分署に配置 東藻琴消防団団長、八重樫正人氏に消防庁長官から功労章を授与される。 ふるさと消防団活性化助成事業により、携帯無線機（1W5台）、衛星放送受信設備購入、東藻琴消防団第1分団に配置

4月	消防長に松田仁男氏就任 次長に崎山義輝氏（兼東藻琴分署長）就任
8月	消防署、第18回全国消防救助技術大会（はしご登はん1名）に出場、入賞する。 常呂漁業協同組合より消防ポンプ自動車の寄贈を受け「常呂漁業協同組合号」と命名、常呂消防団第2分団に配置
9月	東藻琴分署、有線遠隔サイレン吹鳴装置完成、運用開始 小型動力ポンプ付積載車（全自動4WD）3台購入、網走消防団第3、第4、第5分団に配置
10月	次長に安田常夫氏（兼常呂分署長）就任 北海道救急医療情報システム運用開始
12月	消防ポンプ自動車購入、女満別消防団第1分団に配置
平成2年2月	東藻琴消防団、優良消防団として、日本消防協会より表彰旗を授与される。 網走消防団団長、鎌田誠二郎氏、女満別消防団団長、富田定年氏に日本消防協会から功績章を授与される。 常呂分署、有線遠隔サイレン吹鳴装置完成、運用開始
4月	消防署2名増員、56名とする。 常呂分署1名増員、13名とする。 東藻琴分署1名増員、11名とする。
5月	救助資機材（油圧スプレッダー、カッター）購入、常呂分署に配置
6月	ミニはしご車を制作「のっぽ君」と命名、消防署に配置
7月	第2回「母と子の防火大会」（網走市防火委員会設立10周年記念）を網走市で開催
8月	消防署長に玉置光正氏就任
9月	小型動力ポンプ付積載車（全自動4WD）購入、網走消防団第2分団に配置
10月	はしご付消防ポンプ自動車（30m級）購入、消防署に配置 全国婦人消防操法大会（軽可搬ポンプ操法）において、卯原内婦人消防隊が優秀賞を受賞する。 網走市緊急通報システム（通称ふれあいコール）運用開始（受信センター、消防署通信指令室）
11月	日本消防協会より救急自動車の寄贈を受け、消防署に配置
平成3年2月	小型動力ポンプ付積載車購入、女満別消防団第1分団に配置
3月	東藻琴消防団、優良消防団として、消防庁長官から竿頭綬を授与される。
4月	副管理者に山田保氏（網走市助役）就任 次長に福井新一氏（兼女満別分署長）就任 女満別分署1名増員、14名とする。 網走地区防火管理協議会発足する。（会員数155団体）
5月	副管理者に宇野勝男氏（女満別町長）就任
7月	消防団条例を改正し、消防団員の定員を543名とし、次のとおりの編成とする。

	網走消防団	265名
	常呂消防団	126名
	女満別消防団	80名
	東藻琴消防団	72名
9月	救助資機材（油圧スプレッダー、カッター）購入、女満別分署に配置	
10月	網走消防団10名、女満別消防団10名、東藻琴消防団7名の女性消防団員を採用	
	中台貞子氏より広報車の寄贈を受け、常呂分署に配置	
	北海道共済農業協同組合連合会より救急自動車（4WD）の寄贈を受け、常呂分署に配置	
11月	指揮広報車購入、女満別分署に配置	
	救助資機材（油圧スプレッダー、カッター）購入、東藻琴分署に配置	
	常呂消防団10名の女性消防団員を採用	
12月	小型動力ポンプ積載車購入、常呂消防団第1分団に配置	
	網走消防団第6分団詰所新築	
	小型動力ポンプ付積載車（全自動4WD）購入、網走消防団第6分団に配置	
平成4年1月	ふるさと消防団活性化助成事業により、液晶ビジョン機器一式購入、網走消防団に配置	
4月	次長に疋田政治氏（兼女満別分署長）就任	
	常呂消防団団長に阿部只義氏就任	
5月	東藻琴分署1名増員、12名とする。	
	湊自動車工業株式会社より広報車の寄贈を受け、消防署に配置	
10月	次長に千葉豊克氏（兼常呂分署長）就任	
	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（3,000L）購入、消防署に配置	
12月	次長に島田弘嗣氏（兼東藻琴分署長）就任	
平成5年3月	網走消防団団長、鎌田誠二郎氏に消防庁長官から永年勤続功労章を授与される。	
4月	消防署4名増員、60名とする。	
	常呂分署2名増員、15名とする。	
	女満別分署1名増員、15名とする。	
	東藻琴分署1名増員、13名とする。	
	副管理者に大場脩氏（網走市助役）就任	
	収入役に佐々木信夫氏（網走市収入役）就任	
	参与に成田公義氏就任	
5月	網走消防公設100年を記念し、網走市桂ヶ岡公園に記念碑を建立	
6月	「網走消防公設100年記念式典」を挙行、併せて「市民防火の集い（日本防火協会共催）」を網走市で開催	
	網走ライオンズクラブより広報車の寄贈を受け、消防署に配置	
7月	副管理者に井上和夫氏（常呂町長）就任	
8月	消防署、第22回全国救助技術大会（ロープブリッジ救出1組）に出場、入賞	

	する。								
9月	次長に斉藤実氏（兼常呂分署長）就任 日本消防協会より消防用車両の寄贈を受け、網走消防団本部に配置								
10月	消防長に成田公義氏就任								
11月	東藻琴消防団長、八重樫正人氏に自治大臣から消防功労者表彰を授与される。								
12月	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（6,000L）購入、東藻琴分署に配置 救助資機材（重量物排除用器具、マット式空気ジャッキ）購入、消防署に配置								
平成6年3月	消防本部・網走消防団、優良消防機関として、消防庁長官から表彰旗を授与される。								
4月	消防署2名増員、62名とする。 常呂分署1名増員、16名とする。 女満別分署1名増員、16名とする。 東藻琴分署1名増員、14名とする。 消防団条例を改正し、消防団員の定員を532名とし、次のとおりの編成とする。 <table> <tr> <td>網走消防団</td><td>265名</td></tr> <tr> <td>常呂消防団</td><td>115名</td></tr> <tr> <td>女満別消防団</td><td>80名</td></tr> <tr> <td>東藻琴消防団</td><td>72名</td></tr> </table>	網走消防団	265名	常呂消防団	115名	女満別消防団	80名	東藻琴消防団	72名
網走消防団	265名								
常呂消防団	115名								
女満別消防団	80名								
東藻琴消防団	72名								
	次長に玉置光正氏就任 次長に東海秀昭氏（兼女満別分署長）就任 消防署長に大西正美氏就任								
11月	日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（2,000L、4WD）の寄贈を受け、消防署に配置 北海道共済農業協同組合連合会より救急自動車（4WD）の寄贈を受け、女満別分署に配置 網走消防団第2分団詰所移転新築								
12月	女満別分署、有線遠隔サイレン吹鳴装置完成、運用開始 高規格救急自動車（4WD）購入、東藻琴分署に配置								
平成7年3月	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（6,500L）購入、女満別分署に配置								
4月	常呂分署1名増員、17名とする。 女満別分署1名増員、17名とする。 東藻琴分署1名増員、15名とする。 次長に大西正美氏就任								
4月	消防署長に池田均氏就任								
6月	財団法人日本防火協会より防火広報車の寄贈を受け、消防署に配置								
7月	次長に山口保久氏（兼東藻琴分署長）就任 北海道消防操法訓練大会において女満別消防団がポンプ車操法の部で準優勝								
8月	消防署、第24回全国消防救助技術大会（ロープ応用登はん1組）に出場、入								

	賞する。
11月	高規格救急自動車（4WD）及び高度救命処置用資機材一式購入、消防署に配置
	消防署において救急隊員1名が救急救命士の国家資格を取得する。
平成8年1月	東藻琴消防団団長に森比三夫氏就任
3月	女満別消防団団長、富田定年氏に消防庁長官から功労章を授与される。 常呂消防団団長、阿部只義氏に消防庁長官から永年勤続功労章を授与される。
	化学消防ポンプ自動車Ⅲ型（水1,500L、薬液1,200L）購入、消防署に配置
4月	次長に北野護氏（兼常呂分署長）就任 次長に疋田政治氏（兼女満別分署長）就任
8月	北海道防災総合訓練を網走市で開催
11月	網走消防団団長に遠藤隆也氏就任
12月	消防署において救急隊員1名が救急救命士の国家資格を取得する。
平成9年3月	前網走消防団団長、鎌田誠二郎氏より指揮広報車の寄贈を受け、「鎌田号」と命名、消防署に配置
	網走消防団第4分団（湖南）にサイレン塔新設
4月	副管理者に柴崎正則氏（網走市助役）就任 収入役に鈴木雅宣氏（網走市収入役）就任 次長に池田均氏（兼消防署長）就任 次長に崎山秀昭氏（兼東藻琴分署長）就任
5月	常呂分署において救急隊員1名が救急救命士の国家資格を取得する。
9月	東藻琴分署において救急救命士1名を配置
10月	防火広報車購入、東藻琴分署に配置
12月	消防署において救急隊員1名が救急救命士の国家資格を取得する。
平成10年1月	救助工作車Ⅱ型（4WD、クレーン、ウィンチ付）購入、消防署に配置 消防ポンプ自動車（CD-Ⅱ型4WD）購入、東藻琴消防団第1分団に配置
3月	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（2,000L、4WD）購入、女満別消防団第1分団に配置
4月	女満別分署職員1名増員、18名とする。 女満別消防団団長に岩原繁弘氏就任
9月	東藻琴分署において救急救命士1名を配置 日本消防協会から小型動力ポンプ付積載車の寄贈を受け、網走消防団第2分団に配置
10月	「女満別消防発足80周年記念式典」を挙行政
11月	消防署において救急隊員1名が救急救命士の国家資格を取得する。
12月	管理者に大場脩氏（網走市長）就任 常呂分署及び常呂消防団第1分団、消防庁舎移転新築併せて、通信指令情報システム導入、運用開始
平成11年2月	消防長に池田均氏就任 次長に金井邦彦氏（兼消防署長）就任

	小型動力ポンプ付水槽車Ⅱ型（10,000L）購入、消防署に配置						
3月	「女満別消防80年のあゆみ」発刊 常呂消防団、優良消防団として消防庁長官から表彰旗を授与される。 東藻琴分署、通信指令情報システム導入、運用開始 網走消防団第2分団（能取）にサイレン塔新設						
4月	副管理者に鈴木雅宣氏（網走市助役）就任 収入役に長崎昇司氏（網走市収入役）就任 副管理者に小島忠和氏（東藻琴村長）就任 消防署において救急救命士業務の完全運用開始						
7月	東藻琴分署において救急救命士業務の完全運用開始 北海道消防操法訓練大会において常呂消防団がポンプ車操法の部で優勝						
8月	副管理者に井原久敏氏（常呂町長）就任						
11月	消防署において救急隊員1名が救急救命士の国家資格を取得する。 女満別分署において救急隊員1名が救急救命士の国家資格を取得する。						
12月	網走消防団第5分団にサイレン塔新築						
平成12年3月	女満別消防団団長、岩原繁弘氏に消防庁長官から永年勤続功労章を授与される。 水難救助資機材一式購入、消防署に配置 医療法人社団網走中央病院より救急医療業務普及推進車の寄贈を受け、消防署に配置						
4月	小型動力ポンプ付水槽車Ⅱ型（10,000L）購入、東藻琴分署に配置 有珠山噴火災害に対して、北海道広域消防相互応援協定に基づく広域応援隊（10名）を派遣						
7月	「母と子の防火大会」（網走市防火委員会設立20周年記念）を網走市で開催						
9月	消防本部に、広域消防相互応援の功労として、消防庁長官から褒状を授与される。						
10月	女満別分署において救急救命士業務の完全運用開始 水難救助車（4WD、マリンレスキュー）を購入、消防署に配置						
11月	消防署において水難救助隊の運用開始 女満別分署において救急隊員1名が救急救命士の国家資格を取得する。						
12月	消防署 防災備蓄庫新築						
平成13年1月	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（6,500L）購入、常呂消防団第1分団に配置						
2月	消防署 消防訓練塔（7階建）新築						
3月	女満別消防団、優良消防団として消防庁長官から表彰旗を授与される。 指揮広報車（4WD）購入、東藻琴消防団第1分団に配置						
4月	消防団条例を改正し、消防団員の定員を517名とし、次のとおりの編成とする。 <table> <tr> <td>網走消防団</td><td>265名</td></tr> <tr> <td>常呂消防団</td><td>100名</td></tr> <tr> <td>女満別消防団</td><td>80名</td></tr> </table>	網走消防団	265名	常呂消防団	100名	女満別消防団	80名
網走消防団	265名						
常呂消防団	100名						
女満別消防団	80名						

	東藻琴消防団	72名
	消防長に吉田智彰氏（兼次長）就任	
	消防署長に草薙敏郎氏就任	
	消防署において救急隊員1名が救急救命士の国家資格を取得する。	
7月	小型動力ポンプ付水槽車Ⅱ型（10,000L）購入、女満別分署に配置	
10月	全国共済農業協同組合連合会北海道本部より救急自動車の寄贈を受け、高規格仕様を施し消防署に配置	
	消防署において救急隊員1名が救急救命士の国家資格を取得する。	
平成14年3月	常呂消防団団長、阿部只義氏に消防庁長官から功労章を授与される。	
	日本損害保険協会より高規格救急自動車（4WD）の寄贈を受け、女満別分署に配置	
	高度救命処置用資機材一式購入、女満別分署に配置	
4月	消防署南出張所庁舎移転新築し、運用開始	
	次長に森純一氏（兼女満別分署長）就任	
	女満別分署、東藻琴分署において救急隊員各1名が救急救命士の国家資格を取得する。	
11月	女満別分署において救急隊員1名が救急救命士の国家資格を取得する。	
平成15年2月	常呂消防団団長、阿部只義氏、東藻琴消防団長、森比三夫氏に日本消防協会から功績章を授与される。	
3月	東藻琴消防団、優良消防団として消防庁長官から表彰旗を授与される。	
	消防署において通信指令システム（Ⅰ型）導入、運用開始。	
4月	次長に草薙敏郎氏（兼消防署長）就任	
	次長に今井重吉氏（兼常呂分署長）就任	
	消防署において救急隊員1名が救急救命士の国家資格を取得する。	
	常呂分署において救急隊員1名が救急救命士の国家資格を取得する。	
	常呂分署において救急救命士1名配置	
5月	網走ライオンズクラブより指揮広報車の寄贈を受け、消防署に配置する。	
6月	副管理者に山下英二氏（女満別町長）就任	
10月	消防署において救急隊員2名が救急救命士の国家資格を取得する。	
	高規格救急自動車（4WD S）及び高度救命処置用資機材一式購入、常呂分署に配置	
	網走消防団第3分団詰所・サイレン塔新築	
平成16年3月	財団法人網走監獄保存財団よりマイクロバス（4WD、29人乗り）の寄贈を受け、消防署に配置する。	
4月	東藻琴分署において救急隊員1名が救急救命士の国家資格を取得する。	
	消防長に竹内道生氏就任	
8月	消防署から第33回全国消防救助技術大会（はしご登はん）に出場し、入賞する。	
10月	消防署において救急隊員2名が救急救命士の国家資格を取得する。	
	女満別分署において救急隊員1名が救急救命士の国家資格を取得する。	

平成17年 2月	網走消防団団長、遠藤隆也氏に日本消防協会から功績章を授与される。
3月	網走消防団第4分団詰所・サイレン塔新築
4月	組合規約を改正し、副管理者の定数を3名として、網走市に属する副管理者を廃止する。
	収入役に鈴木雅宣氏（網走市助役：収入役事務兼掌者）就任
	常呂分署において救急隊員1名が救急救命士の国家資格を取得する。
7月	北海道消防操法大会に東藻琴消防団が出場する。
10月	全国共済農業協同組合連合会北海道本部より救急自動車の寄贈を受け、高規格仕様を施し東藻琴分署に配置
	網走消防団第2分団（第2卯原内）にサイレン塔新設
11月	消防署において救急隊員1名が救急救命士の国家資格を取得する。
平成18年 3月	組合構成町の常呂町が北見市との合併により組合を脱退し、1市1町1村の構成となり、副管理者を2名とする。
	組合構成町村の女満別町と東藻琴村が合併し大空町となり、1市1町の構成となり、副管理者を1名とする。
	女満別分署を大空消防署、東藻琴分署を大空消防署東藻琴出張所とする。
	網走地区消防組合消防署を網走地区消防組合網走消防署とする。
	大空消防署長に森純一氏就任
	全日本消防人共済会から小型動力ポンプ積載車の寄贈を受け、網走消防団第2分団に配置
4月	消防長に小坂繁一氏就任
	網走消防団団長に松井丈氏就任
	東藻琴消防団第2分団を統合し、第1分団第3部とする。
7月	北海道消防操法大会において網走消防団がポンプ車操法の部で優良賞を受賞する。
平成19年 4月	組合規約を改正し、副管理者の定数を2名として、網走市に属する副管理者を設置する。
	副管理者に鈴木雅宣氏（網走市副市長）就任
	網走消防署において救急隊員1名が救急救命士の国家資格を取得する。
10月	全国共済農業協同組合連合会北海道本部より救急自動車の寄贈を受け、高規格仕様を施し網走消防署に配置
12月	次長に高岡正治氏（兼網走消防署長）就任
平成20年 1月	大空消防署において通信指令装置導入・運用開始
	東藻琴消防団団長に原紺盛雄氏就任
3月	女満別消防団団長、岩原繁弘氏に日本消防協会から功績章を授与される。
4月	消防長に吉野守氏就任
	網走消防署において都市型救助資器材の運用開始
	網走消防署、大空消防署において救急隊員各1名が救急救命士の国家資格を取得する。
7月	北海道洞爺湖サミット消防特別警戒隊として、大型水槽車（隊員4名）を派遣

8月	網走消防署（ロープブリッジ救出）及び大空消防署（ロープ応用登はん）から第37回全国消防救助技術大会に出場し、入賞する。
9月	北海道洞爺湖サミット消防特別警戒の功勞として、消防庁長官から消防本部へ褒状が授与される。
10月	先端屈折式はしご付消防ポンプ自動車（30m級）を購入、網走消防署南出張所に配置
平成21年4月	副管理者に大澤慶逸氏（網走市副市長）就任 次長に石田良和氏（兼網走消防署長）就任 網走消防団に女性分団（チーム・クリオネ）新設 網走消防署、大空消防署において救急隊員各1名が救急救命士の国家資格を取得する。
8月	大空消防署（はしご登はん）から第38回全国消防救助技術大会に出場し、入賞する。
12月	消防ポンプ自動車（CD-II型）を購入し、大空消防署に配置
平成22年1月	C A F S搭載水槽付消防ポンプ自動車を購入し、網走消防署に配置
3月	女満別消防団団長、岩原繁弘氏に消防庁長官から功勞章を授与される。
4月	消防長に本間典勝氏就任 大空消防署長に旭敏男氏就任 網走消防署において救急隊員3名、大空消防署において救急隊員1名が救急救命士の国家資格を取得する。
7月	組合議員定数を1名減（大空）、11名とする。
8月	網走消防署（ロープブリッジ救出）及び大空消防署（ロープ応用登はん）から第39回全国消防救助技術大会に出場し、入賞する。
9月	総務省消防庁より消防団救助資機材搭載型車両の無償貸与を受け、網走消防団に配置
10月	高規格救急自動車を購入し、網走消防署南出張所に配置
11月	女満別消防団団長、岩原繁弘氏に天皇陛下から藍綬褒章が授与される。
12月	管理者に水谷洋一氏（網走市長）就任
平成23年3月	東日本大震災により緊急消防援助隊（北海道第6次派遣隊）として、網走消防署から隊員2名を被災地（宮城県石巻市）へ派遣
4月	東日本大震災により緊急消防援助隊（北海道第11次派遣隊）として、網走消防署から隊員5名、大空消防署から隊員2名を被災地（宮城県石巻市）へ派遣
8月	オホーツク網走農業協同組合より網走消防団第2分団（嘉多山地区）機材庫建物及び宅地の寄贈を受ける。
11月	東日本大震災への緊急消防援助隊派遣の功勞として、総務大臣から消防本部へ表彰状が授与される。
12月	C A F S搭載水槽付消防ポンプ自動車を購入し、網走消防署南出張所に配置
平成24年4月	次長に臼杵雅則氏（兼網走消防署長）就任
8月	大空消防署（はしご登はん）から第41回全国消防救助技術大会に出場し、入賞する。

9月	消防ポンプ自動車（CD-I）を購入し、網走消防団第1分団に配置
10月	高規格救急自動車（4WD）及び高度救命処置用資機材一式を購入し、大空消防署に配置
平成25年3月	東藻琴消防団団長、原紺盛雄氏に消防庁長官から功労章を授与される。 高機能緊急消防通信指令システム移転整備に係る網走消防署南出張所庁舎改修
4月	消防長に下間孝志氏就任 大空消防署長に黒田路人氏就任 東藻琴消防団団長、原紺盛雄氏に天皇陛下から藍綬褒章が授与される。
7月	北海道消防操法訓練大会において、女満別消防団が小型ポンプ操法の部で優勝
11月	東藻琴消防団団長に和泉彦夫氏就任
平成26年3月	網走消防団団長、松井丈氏に消防庁長官から功労章を授与される。 網走消防署及び大空消防署において、消防救急デジタル無線設備の運用開始 網走消防署において高機能消防緊急通信指令システム（離島型）を導入、運用開始
4月	大空消防署において、救急隊員1名が救急救命士の国家資格を取得する。
8月	女満別消防団団長、岩原繁弘氏に北海道消防協会から栄光章を授与される。 女満別消防団、優良消防団として、北海道消防協会から表彰旗を授与される。
9月	消防ポンプ自動車（CD-I）を購入し、網走消防団第1分団に配置
10月	網走市危険物安全協会より指揮広報車の寄贈を受け、網走消防署南出張所に配置
12月	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型を購入し、東藻琴消防団第1分団に配置
平成27年3月	網走消防団団長、松井丈氏に日本消防協会から功績章を授与される。
4月	副管理者に川田昌弘氏（網走市副市長）就任 消防長に臼杵雅則氏就任 次長に村上敬司氏（兼網走消防署長）就任 大空消防署において、救急隊員1名が救急救命士の国家資格を取得する。
8月	網走消防署（ロープブリッジ救出1組、はしご登はん1名）から第44回 全国消防救助技術大会に出場し、ロープブリッジ救出1組が入賞する。
平成28年3月	東藻琴消防団団長、和泉彦夫氏に消防庁長官から永年勤続功労章を授与される。
4月	網走消防署、大空消防署において救急隊員各1名が救急救命士の国家資格を取得する。
8月	第68回北海道消防大会（網走市開催）が、たび重なる台風の北海道上陸により中止となる。 東藻琴消防団、優良消防団として、北海道消防協会から表彰旗を授与される。 網走消防署（ロープブリッジ救出）から第45回全国消防救助技術大会に出場する。
11月	網走消防団団長、松井丈氏に天皇陛下から藍綬褒章が授与される。
12月	小型動力ポンプ付積載車を購入し、女満別消防団本部に配置
平成29年3月	救助工作車Ⅱ型（クレーン、ウィンチ、屋上自動上昇式発電照明灯、救命ボート）及び救助用資機材を購入し、網走消防署に配置
4月	大空消防署長に道場文也氏就任

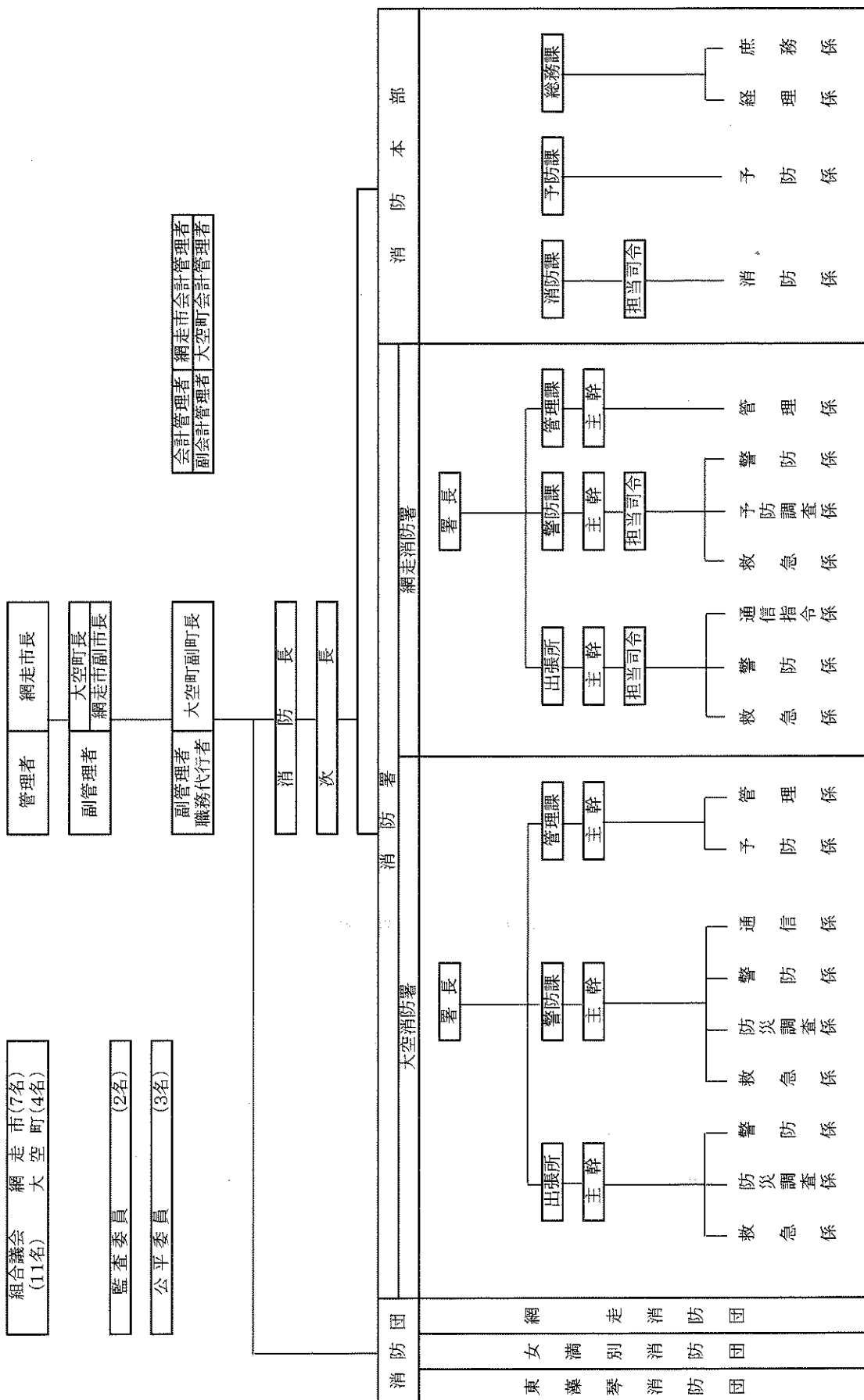
8月	網走消防署（ロープブリッジ救出）から第46回全国消防救助技術大会に出場し、入賞する。
	大空消防署東藻琴出張所に車庫を新築
9月	小型動力ポンプ付積載車を購入し、東藻琴消防団第1分団に配置
11月	東藻琴消防団団長、和泉彦夫氏に天皇陛下から藍綬褒章が授与される。
12月	指揮車を購入し、大空消防署に配置
平成30年2月	消防ポンプ自動車（CD-II）を購入し、網走消防団第4分団に配置
8月	連絡車を購入、大空消防署に配置
	網走消防署（ロープ応用登はん）から第47回全国消防救助技術大会の出場権を得るも、台風の接近により中止となる。
10月	消防ポンプ自動車（CD-II）を購入し、網走消防団第2分団に配置
11月	東藻琴消防団100年記念式典を挙行
12月	水槽付消防ポンプ自動車II型（6,000ℓ）購入、大空消防署東藻琴出張所に配置
平成31年2月	網走消防団第5分団詰所・サイレン塔移転新築、小型動力ポンプ付積載車を購入し網走消防団第5分団に配置
4月	消防長に村上敬司氏就任
	次長に近藤優氏（兼網走消防署長）就任
	網走消防署において救急隊員1名が救急救命士の国家資格を取得する。
令和元年9月	網走消防後援会よりミニ消防車の寄贈を受け、網走消防署南出張所に配置
	高規格救急自動車を購入し、網走消防署に配置
	消防ポンプ自動車（CD-II）を購入し、網走消防団第3分団に配置
10月	女満別消防団100年記念式典を挙行
11月	第71回北海道消防大会を網走市で開催
	網走消防団、優良消防団として、北海道消防協会から表彰旗を授与される。
	女満別幼年消防クラブ、東藻琴幼年消防クラブ、女満別少年消防クラブ、東藻琴少年消防クラブの4団体に、優良消防関係団体として北海道消防協会から表彰状を授与される。
令和2年3月	網走消防団団長に中嶋賢一氏就任
4月	網走消防署、大空消防署において救急隊員各1名が救急救命士の国家資格を取得する。
	女満別消防団団長に藤井智靖氏就任
10月	網走消防団団長に井戸達也氏就任
	小型動力ポンプ付積載車を購入し、網走消防団第6分団に配置
11月	JA共済連北海道より高規格救急自動車の寄贈を受け、大空消防署東藻琴出張所に配置
12月	公益財団法人日本消防協会より消防団活動車（デリカD5）の寄贈を受け、網走消防団第1分団に配置
令和3年3月	女満別消防団が、公益財団法人日本消防協会より特別表彰「まとい」を授与される。
4月	副管理者に後藤利博氏（網走市副市長）就任
	消防長に近藤優氏就任

次長に高橋信弘氏（兼網走消防署長）就任

大空消防署長に三宅隆氏就任

東藻琴消防団団長に久野秀次氏就任

網走地区消防組合機構図



2表 令和3年度組合予算

歳 入				歳 出				(単位:千円)	
款	項	金額	構成 比%	款	項	金額	構成 比%		
分担金及び負担金		1,245,738	99.4	議 会 費		459	0.1		
	負 担 金	1,245,738			議 会 費	459			
使用料及び手数料		300	0.6	消 防 費		1,139,685	90.9		
	手 数 料	300			消 防 費	90,681			
財 産 収 入		2			監 査 委 員 費	62			
	財産運用収入	2			常 備 消 防 費	877,530			
繰 越 金		300			非常備消防費	71,176			
	繰 越 金	300			消 防 施 設 費	100,236			
諸 収 入		6,410		公 債 費		112,106	8.9		
	預 金 利 子	10			公 債 費	112,106			
	雑 入	6,400		予 備 費		500	0.1		
組 合 債		0			予 備 費	500			
	組 合 債	0	0.0						
歳 入 合 計		1,252,750	100.0	歳 出 合 計		1,252,750	100.0		

3表 令和3年度構成市町予算と組合予算との比較

(単位:千円)

市町名	区分	一般会計予算額	組合予算額	比 率
網 走 市		24,279,374	759,060	3.1%
大 空 町		8,945,765	493,690	5.5%
合 計		33,225,139	1,252,750	3.8%

4表 人口・世帯数に対する組合予算

区分 市町名	予算額 (千円)	人口 (人)	1人当りの予算額 (円)	世帯数 (世帯)	1世帯当りの予算額 (円)
網走市	759,060	33,832	22,436	17,863	42,493
大空町	493,690	6,905	71,497	3,022	163,365
合 計	1,252,750	40,737	30,752	20,885	59,983

注 人口・世帯数は令和3年3月31日現在の住基台帳による。

5表 組合予算の推移

区分 年度	組合予算額 (千円)	1人当りの予算額 (円)	1世帯当りの予算額 (円)
令和2年度	1,246,976	30,157	59,939
令和元年度	1,183,170	28,127	56,546
平成30年度	1,379,049	32,305	65,650
平成29年度	1,135,519	26,203	54,057
平成28年度	1,204,872	27,387	56,906
平成27年度	1,053,878	23,572	49,573
平成26年度	1,144,757	25,375	53,927
平成25年度	2,025,015	44,178	95,389
平成24年度	1,102,068	23,877	51,926
平成23年度	1,113,157	23,749	52,029

6表 職 員 配 置 状 況

()内は兼任数

所 属	区 分 階 級	消 防 吏 員								合 計
		監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	士	士見習	
消 防 本 部	消 防 長	1								1
	次 長		1							1
	総 務 課			1	2	1				4
	消 防 課			2		1				3
	予 防 課			(1)	1	1				2(1)
小 計		1	1	3(1)	3	3	0	0	0	11(1)
網 走 消 防 署	署 長		(1)							(1)
	管 理 課			1(1)						1(1)
	管 理 係					2		1		3
	管理課付・道派遣					1				1
	警防課・主幹・司令			6						6
	警 防 係				4			5	1	10
	予防調査係				4	2		4		10
	救 急 係					4				4
	出張所・主幹・司令			4						4
	出張所警防係				4	2		4	2	12
	出張所救急係				2	1		1		4
	出張所通信指令係				1	1		2		4
小 計			(1)	11(1)	15	13	0	17	3	59(2)
大 空 消 防 署	署 長		1							1
	管理課・主幹			3						3
	管 理 係				1	1		1		3
	予 防 係				1	1		1(1)		3(1)
	警防課・主幹			3(1)						3(1)
	警 防 係				1	1		3		5
	防災調査係				1	(1)		1(1)		2(2)
	救 急 係				1	2				3
	通 信 係				(1)	(2)				(3)
	出張所・主幹			4						4
	出張所警防係				3	1				4
	出張所防災調査係				1(1)	1				2(1)
	出張所救急係				1	1				2
小 計			1	10(1)	10(2)	8(3)	0	6(2)		35(8)
合 計		1	2(1)	24(3)	28(2)	24(3)	0	23(2)	3	105(11)

7表 年令別消防職員

階 級 年 令	監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	士	士見習	合計
20 歳 未 満							6	1	7
20歳以上25歳未満							14	2	16
25歳以上30歳未満					7		3		10
30歳以上35歳未満					10				10
35歳以上40歳未満				8	4				12
40歳以上45歳未満				10	1				11
45歳以上50歳未満			12	6	1				19
50歳以上55歳未満			2	3	1				6
55 歳 以 上	1	2	10	1					14
平 均 年 令	56.0	58.5	51.9	43.3	32.9		21.7	19.3	37.9
合 計	1	2	24	28	24		23	3	105

8表 勤続年数別消防職員

階 級 勤続年数	監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	士	士見習	合計
5 年 未 満					1		18	3	22
5年以上10年未満					8		5		13
10年以上15年未満				1	11				12
15年以上20年未満				5	2				7
20年以上25年未満			2	10					12
25年以上30年未満			8	9	1				18
30年以上35年未満			5	2	1				8
35 年 以 上	1	2	9	1					13
平 均 勤 続 年 数	37.0	39.0	32.0	23.5	11.6		3.2		18.0
合 計	1	2	24	28	24		23	3	105

9表 消 防 団 員 配 置 状 況

階 級 所 属		団 長		副団長		分団長		副分団長		部 長		班 長		団 員		合 計	
		女性		女性		女性		女性		女性		女性		女性		女性	
網走消防団	本 部	1		4	1	1		2	1	1		2		1		12	2
	女性分団					1	1	1	1	2	2	2	2	11	11	17	17
	第1分団					1		2		4		12		50		69	
	第2分団					1		2		3		6		21		33	
	第3分団					1		1		2		4		20		28	
	第4分団					1		1		2		4		14		22	
	第5分団					1		1		2		4		17		25	
	第6分団					1		1		2		4		14		22	
	小 計	1		4	1	8	1	11	2	18	2	38	2	148	11	228	19
女消防特別団	本 部	1		2		2	1	2	1	1	1	1	1	5	5	14	9
	第1分団					1		2		4		8		35		50	
	小 計	1		2		3	1	4	1	5	1	9	1	40	5	64	9
東消防琴団	本 部	1		2		1		1		2	1	2	1	6	6	15	8
	第1分団					1		1		3		6		37		48	
	小 計	1		2		2		2		5	1	8	1	43	6	63	8
合 計		3		8	1	13	2	17	3	28	4	55	4	231	22	355	36

10表 年 令 別 消 防 団 員

階 級 年 令		団 長		副団長		分団長		副分団長		部 長		班 長		団 員		合 計	
		女性		女性		女性		女性		女性		女性		女性		女性	
20 歳 未 満														3	1	3	1
20歳以上25歳未満														17	2	17	2
25歳以上30歳未満														20	2	20	2
30歳以上35歳未満														33	1	33	1
35歳以上40歳未満												2	1	42	4	44	5
40歳以上45歳未満												19		45	1	64	1
45歳以上50歳未満								3		8	1	20		30	4	61	5
50歳以上55歳未満		1		1		2		5		12	1	8	2	26	4	55	7
55 歳 以 上		2		7	1	11	2	9	3	8	2	6	1	15	3	58	12
平 均 年 令		56		61	62	59	65	57	59	53	55	47	50	39	42	44	47
合 計		3		8	1	13	2	17	3	28	4	55	4	231	22	355	36

11表 勤続年数別消防団員

階 級 勤続年数	団 長		副団長		分団長		副分団長		部 長		班 長		団 員		合 計	
	女性		女性		女性		女性		女性		女性		女性		女性	
5 年 未 満											1	1	64	12	65	13
5年以上10年未満									2	1	4	1	55		61	2
10年以上15年未満									3		11	1	52	5	66	6
15年以上20年未満									5	2	17	1	25	4	47	7
20年以上25年未満					2	1	5	1	5	1	11		20	1	43	4
25年以上30年未満	1		3	1	2	1	6	2	7		7		5		31	4
30年以上35年未満			1		1		3		3		3		1 0		21	
35 年 以 上	2		4		8		3		3				1		21	
平均勤続年数	34		34	29	33	26	29	16	23	16	19	10	11	7	15	11
合 計	3		8	1	13	2	17	3	28	4	54	4	232	22	355	36

12表 消防団員任免状況

区 分 所 属		任 用		退 職		昇 格		合 計	
		女性		女性		女性		女性	
網走消防団	本 部			1		7		8	
	女性分団	2	2	4	4	2	2	8	8
	第1分団	4		8		4		16	
	第2分団	3				2		5	
	第3分団			2		4		6	
	第4分団			2				2	
	第5分団			1				1	
	第6分団					3		3	
	小 計	9	2	18	4	22	2	49	8
女消防別団	本 部			1		1		2	
	第1分団			4		3		7	
	小 計			5		4		9	
東消防琴団	本 部			1		2		3	
	第1分団					4		4	
	小 計			1		6		7	
合 計		9	2	24	4	32	2	65	8

13表 令和2年度研修状況

区 分			所 属	網 走	大 空	計
消 防 学 校	職 員	初 任 教 育		2	2	4
		専科教育	警 防 科			
			予 防 査 察 科			
			危 険 物 科			
			火 災 調 査 科			
			救 急 科	2		2
			救 助 科			
		幹 部 教 育 幹 部 科				
		特別教育	消防ポンプ操法指導員課程			
			はしご自動車運用課程			
			水 難 救 助 課 程			
			都 市 型 救 助 課 程			
		北海道 関係教育 MC	気管挿管再認定講習	2	4	6
			ビデオ硬性喉頭鏡講習			
			処置拡大2行為講習			
	団 員	基 礎 教 育				
		特別教育	女性団員課程			
		幹部教育	指 揮 幹 部 科			
大 学 校	総合教育	幹 部 科				
		上 級 幹 部 科				
		新任消防長・学校長科				
		消 防 団 長 科				
	専科教育	警 防 科				
		予 防 科				
		救 急 科				
		救 助 科				
		新 任 教 官 科				
	実 務 講 習					
救 急 救 命 東 京 研 修 所						
救急医療業務実地修練(日本救急医療財団)						
現場指揮研修(札幌市消防局消防学校)						
潜水技術研修(日本サバイバルセンター)						
コンビナート火災コース(海上災害防止センター)						
合 計			6	6	12	



14表 消防車両保有状況

区分 所属	車両別	シャシ名 車両型式	エンジン	登録番号	ボンプ		購入年月	車令	水槽(薬液) 容量:リットル	無線番号	呼称
					型式	級別					
消防本部 ・ 消防署	水槽車	日野BDG-FRIAPYA改	ディーゼル	北見8001は628	モリタME-5	A-2	H22.1	11.3	6,500(45)	網走タンク1	タンク1号車
	"	日野LDG-FRIAPBA改	ディーゼル	北見8001は705	モリタME-5	A-2	H23.11	9.5	6,500(45)	" 2	" 2号車
	"	ヒノ-F3THGAL改	ディーゼル	北見881は565	日機式V3000	A-1	H6.10	26.6	2,000	" 3	" 3号車
	"	イスズ-CVR70K改	ディーゼル	北見881は414	モリタME-5	A-2	H4.10	28.6	3,000	" 4	" 4号車
	大型水槽車	イスズKC-CXZ8IK2改	ディーゼル	北見881は867	トーハノンV75EM	B-2	H11.1	22.3	10,000	網走水槽1	水槽1号車
	はしご車	日野BDG-PR1APYF	ディーゼル	北見8001は569	モリタEM-C	A-2	H20.10	12.6		網走はしご1	はしご1号車
	化学	イスズU-CVR70	ディーゼル	北見881は683	モリタME-5	A-2	H8.3	25.1	1,500(1,200)	網走化学1	化学1号車
	救助工作車	日野QPG-FH1ALDA改	ディーゼル	北見8001は938			H29.3	4.1		網走救助1	救助工作1号車
	高規格救急車	トヨタCBF-TRH226S	ガソリン	北見831と119			R1.9	1.7		網走救急1	救急1号車
	高規格救急車	トヨタTRH-TRH8045	ガソリン	北見830と119			H22.10	10.6		" 2	" 2号車
	高規格救急車	トヨタCBF-TRH226S	ガソリン	北見830と119			H19.9	13.7		" 3	" 3号車
	指揮広報車	" KC-LH125B	ディーゼル	北見88と2197			H9.3	24.1		網走指揮1	指揮広報1号車
	指揮広報車	ダイハツEVD-331V	ガソリン	北見880と205			H26.9	6.7		" 2	" 2号車
消防団	応急手当普及車	" GF-RCH47W	ガソリン	北見800と397			H12.3	21.1		網走救急4	普及推進号
	マイクローバス	ニッサンKK-BHW改	ディーゼル	北見800と1687			H16.2	17.2		災害対応1	災害対応多目的車
	資機材搬送車	" KG-LRMD22	ディーゼル	北見800と651			H12.9	20.7		網走1	資機材搬送1号車
	防火広報車	トヨタACR40W	ガソリン	北見800と1475			H15.5	25.10		網走2	防火広報1号車
	資機材搬送車	イスズPB-NKS81AR	ディーゼル	北見100と6924			H22.7	10.9		網走5	資機材搬送2号車
	ミニ消防車	スズキEBD-DA16A	ガソリン	北見480と3793			H31.3	2.1			わんぱく君
	指揮広報車	三菱3DA-CW1W	ディーゼル	北見800と4747			R2.12	0.4		網走指揮3	指揮広報3号車
	ポンプ車	TKG-XZU685M	ディーゼル	北見800と3421	モリタME-5	A-2	H24.9	8.7		網走ポンプ1	第1分団1号車
	"	TKG-XZU685M	ディーゼル	北見800と3757	モリタME-5	A-2	H26.8	6.8		網走ポンプ2	" 2号車
	資機材	イスズ BKG-NHS85A	ディーゼル	北見800と3118	トーハノンVF63AS	B-2	H22.9	10.7		網走資機材1	" 3号車
	ポンプ車	日野FX2AB-100055	ディーゼル	北見800と4391	モリタMZI	A-2	H30.9	2.7	1,300	卯原内1	第2分団ポンプ車
	積載	ニッサンTC-SH4F23	ガソリン	北見830と119	シバウラSF-756MZ	B-2	H18.3	15.1		嘉多山1	" 嘉多山積載
	"	トヨタGB-YY101改	ガソリン	北見88と2703	フジロビンプF555SM	B-2	H10.9	22.7		能取1	" 能取積載
	ポンプ車	日野2KG-FX2ABA	ディーゼル	北見800と4556	モリタMZI	A-2	R1.9	1.7	1,300	北浜1	第3分団ポンプ車
	ポンプ車	日野2KG-FX2ABA	ディーゼル	北見800と4287	モリタMZI	A-2	H30.2	3.2	1,300	呼人1	第4分団ポンプ車
	積載	イスズTPG-NMS85AN	ディーゼル	北見800と4464	トーハノンVF63AS-Ti	B-2	H31.2	2.2	600	藻琴1	第5分団付積載
	"	イスズ2RG-NMS88AN	ディーゼル	北見880と4720	トーハノンVF63AS-Ti	B-2	R2.10	0.6	600	浦士別1	第6分団付積載

区分 所屬	車両別	シャシー名 車両型式	エンジン	登録番号	ボンプ		購入年月	車令	水槽(薬液) 容量(リットル)	無線番号	呼称
					型式	級別					
大空消防署	化学車	ヒ/PK-FR2PPWA改	ディーゼル	北見830ま119	モリタME-7A	A-1	H17.2	16.2	4,000(2,000)	大空化学1	化学車
	水槽車	ヒ/U-FS3FMB改	ディーゼル	北見88は586	モリタME-5	A-2	H7.3	26.1	6,500	大空タンク13	学部車
	高規格救急車	トヨタCBF-TRH226S	ガソリン	北見830さ1816			H24.10	8.6		大空救急1救	急車
	高規格救急車	トヨタTC-VCH28S改	ガソリン	北見800さ2111			H17.9	15.7		大空救急2救	急車
	指揮広報車	トヨタCBA-TRH229W-LDTNK改	ガソリン	北見800さ4256			H29.12	3.4		大空指揮1指	指揮広報車
	水槽車	ヒ/2PG-FQ1AJG改	ディーゼル	北見830さ2018	モリタME-5	A-2	H30.12	2.4	6,000	大空東タンク11	1号車
	大型水槽車	ヒ/KC-FS4PPFA	ディーゼル	北見800は68	トーハンV68ASX	B-2	H12.3	21.1	10,000	大空東水槽12	2号車
	高規格救急車	トヨタ3BF-TRH226S	ガソリン	北見830そ2020			R2.10	0.6		大空東救急1救	急車
	連絡車	トヨタDBA-NCP175G	ガソリン	北見500に2936			H30.8	2.8			連絡車
	水槽車	ヒ/KC-FTIJGBL改	ディーゼル	北見88は813	モリタME-5	A-2	H10.2	23.2	2,000	大空タンク22	2部車
大空消防団	ボンプ車	ヒ/BDG-GX7JGWA改	ディーゼル	北見800は622	モリタME-5	A-2	H21.11	11.5	600	大空ポンプ11	1部車
	大型水槽車	イスズKL-CYZ81Q3	ディーゼル	北見800は150	トーハンVF63AS	B-2	H13.7	19.9	10,000	大空水槽14	4部車
	搬送車	トヨタKD-KZH116G	ディーゼル	北見33そ4992			H8.5	24.11			搬送車
	積載車	イスズTRG-NHS85A	ディーゼル	北見800さ4071	トーハンVC52AS	B-3	H28.11	4.5		大空積載1積	積載車
東空消防団	ボンプ車	ヒ/KC-FXIJGBA改	ディーゼル	北見88そ2455	モリタME-5	A-2	H10.1	23.3		大空東ポンプ14	4号車
	積載車	イスズTRG-NHS85A	ディーゼル	北見800さ4213	VC72PRO II	B-2	H29.9	3.7		大空東積載15	5号車
	指揮広報車	トヨタGF-RCH47W	ガソリン	北見800さ824			H13.3	20.1		大空東指揮1指	1号車
大空	水槽車	ヒ/SDG-GX7JGAA改	ディーゼル	北見800は851	モリタME-5	A-2	H26.12	6.4	2,000	大空東タンク23	3号車

15表 可搬式動力ポンプ現況

区分 所属	機関名称	ポンプ型式	ポンプ級別	馬力	購入年月	経過年	配置場所
網 走	トーハツ	VF63AS	B-2	63	H22.9	10.7	第1分団
	富士ロビン	P-555	B-2	60	H10.9	22.7	
	シバウラ	B-715	B-2	55	H3.12	29.4	
	シバウラ	SF-756MZ	B-2	62	H18.3	15.1	第2分団
	シバウラ	B-715	B-2	55	H2.9	30.7	
	シバウラ	B-715	B-2	55	S63.12	32.4	第3分団
	シバウラ	B-715	B-2	55	H1.9	31.7	第4分団
	トーハツ	VF63AS-Ti	B-2	63	H31.2	2.2	第5分団
	シバウラ	B-715	B-2	55	H1.9	31.7	
	トーハツ	VF63AS-Ti	B-2	63	R2.10	0.6	第6分団
	シバウラ	B-715	B-2	55	S63.12	32.4	
女満別	トーハツ	VC52AS	B-3	46	H13.7	19.9	第1分団
	ラビット	P-508	B-2	52	H3.2	30.2	
東藻琴	トーハツ	VC72PRO II	B-2	62	H25.2	8.2	第1分団
	ラビット	P-508R	B-2	52	S63.11	32.5	

16表 消火泡原液及び流出油処理剤保有状況

区分 所 属	消火泡原液(リットル)	流出油処理剤(リットル:kg)	
網 走	2,044	1,480	197
大 空	8,370	228	762.7
合 計	10,414	1,708	959.7

17表 消防資器材保有状況

分類	資器材名	網走	大空	合計
放水器具	水中ポンプ	3	2	5
	ガンタイプノズル	14	7	21
	フォグガン	2	1	3
	無反動ノズル	4	2	6
	放水銃	1	1	2
	ピアシングノズル	0	1	1
	高発泡ノズル	5	8	13
	低発泡ノズル	1	2	3
	背負式ポンプ	19	13	32
救助器具	簡易水槽	3	8	11
	かぎ付鋼管製はしご	2	0	2
	かぎ付アルミ合金製はしご	0	4	4
	かぎ付チタン製はしご	4	1	5
	二連アルミ合金製はしご	11	1	12
	三連アルミ合金製はしご	2	4	6
	三連チタン製はしご	1	3	4
	三連鋼鉄製はしご	4	0	4
	空気式救助マット	3	0	3
	マット型空気ジャッキ	2	4	6
	緊急救出救助用ジャッキ	1	0	1
	救命索発射銃 火薬式	0	0	0
	救命索発射銃 空気圧式	1	0	1
	可搬式ウィンチ	3	2	5
	マンホール救助器具	0	0	0
	発電機 400W	1	0	1
	＃ 500W	1	1	2
	＃ 600W	1	0	1
	＃ 800W	1	1	2
	＃ 900W	5	0	5
	＃ 1.5KW	2	6	8
	＃ 3KW	3	3	6
	＃ 5KW	2	2	4
	バスケットストレッチャー	2	4	6
	スケッドストレッチャー	1	1	2
	バーティカルストレッチャー	1	0	1
	多目的担架	1	1	2
	四つ折足付き担架	1	0	1
	エアータント	1	0	1
	救命ボート FRP製（複合）	1	2	3
	船外機	1	2	3
	救命胴衣	82	16	98
	ライフガードスローバック	2	2	4
	ハーネス(隊員用)	12	9	21
	ハーネス(要救助者用)	2	7	9
	潜降確保ハーネス	8	0	8
破壊器具	油圧式救助器具 スプレッター	4	2	6
	油圧式救助器具 カッター	5	2	7
	油圧式救助器具 ジャッキ	1	2	3
	エアソー	2	1	3
	レシプロソー	2	0	2
	エンジンカッター	7	5	12
	チェーンソー	6	4	10
	削岩機	1	0	1
	ハンマードリル	1	0	1
	鉄線カッター(鉄筋カッター)	0	1	1
	鉄製鉄	4	6	10
	酸素溶断機	1	0	1
	ガス溶断機	1	0	1
	万能斧(弁慶)	8	5	13
	携帯用コンクリート破砕機	3	2	5
保護器具	潜水器具	22	0	22
	化学防護服	0	3	3
	耐熱防護服	8	8	16
	耐電用防護服	3	4	7
	防護服(簡易型)	10	0	10
	耐電用手袋	14	7	21
	防毒マスク	5	3	8
	防護マスク(M3型)	0	6	6
	緊急避難用マスク(簡易型)	0	0	0
	空気呼吸器	28	23	51
	酸素呼吸器	3	0	3
	携帯警報機	10	8	18
	空気充填機	1	1	2
	送排風機	1	3	4
	防塵めがね	16	5	21
	空気補充用ポンプ	87	67	154
	エアバックセーフティー	2	2	4
	夜光反射ベスト	17	3	20
	反射式合図灯	4	10	14
	チェーンソー保護具	5	4	9
測定器具	可燃性ガス測定器	3	2	5
	酸素濃度測定器	0	0	0
	有毒ガス測定器	0	0	0
通信器具	携帯無線機(260MHz用)	8	16	24
	水中通話装置	22	0	22
車両用応急用具	ゴージャック(一式)	2	0	2

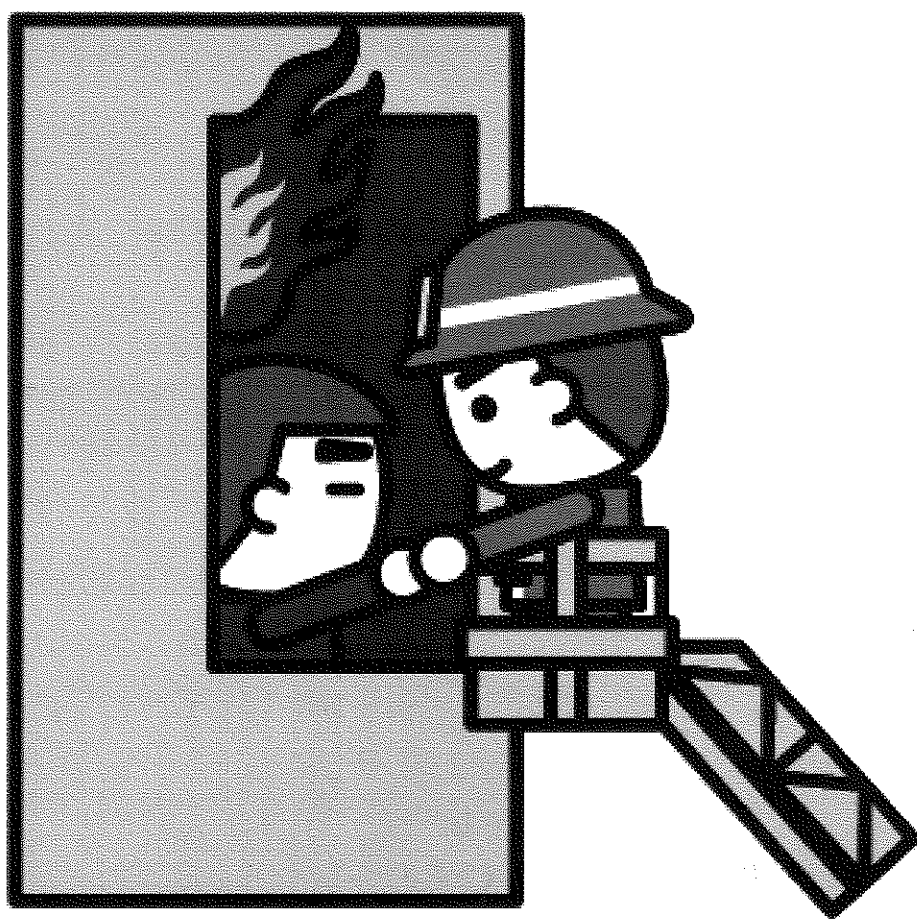
18表 救助工作車積載器具

機 材 名	数 量	機 材 名	数 量
空気呼吸器(ライフゼムK815)	5	パイロン	6
予備ポンペ(80・120)	10	フック棒	1
酸素呼吸器	2	消火器	1
有毒ガス測定器	1式	ロープ 10m	3
可燃性ガス測定器	1式	ロープ 20m	2
酸素濃度測定器	1式	ロープ 30m	3
携帯拡声器	1	ロープ 40m	1
携帯投光器(カドニカ、懐中電灯)	5	ロープ 50m	2
救命浮輪	2	ロープ 小綱	8
救命胴衣	5	カラビナ	28
ライフガードスローバック	2	滑車	14
発電機	1式	救急箱	1
投光器(メタルハライド)	1式	デジタルカメラ	1
携帯発電機	2	マンホール救助器具	0
投降器	1	ウインチ	1
エンジンカッター	1	クレーン	1
チェーンソー	1	安全帯	4
チルホール	1	防塵マスク	6
油圧式救助器具(バーカッター)	1式	防塵メガネ	6
油圧式救助器具(スプレッター)	2	防毒マスク	5
油圧式救助器具(カッター)	2	チルスリング	5
油圧式救助器具(ラムシリンダー)	1	シャックル	4
エアソー	1	鋼板吊クランプ	1
レシプロソー	1	チェーンブロック	0
マット型空気ジャッキ	1式	エアーマット(ソフトランディング)	1
かぎ付はしご	1	フロート付バスケット担架	1
三連はしご	1	エアバックセーフティー	2
ワイヤーはしご	1	ハーネス(隊員用)	5
簡易画像探索機	1	ハーネス(要救助者用)	1
救助用縛帯	1	スタティックロープ 50m	1
ストリームライト	2	スタティックロープ 100m	3
ボルトクリッパー	2	テープスリング	36
ストライカー	1	ブルージックコード	6
削岩機	1	カラビナ	26
酸素溶断器	1	ブーリー	6
耐電手袋	7	ブーリー(小)	3
けん引ワイヤー(16mm)	1	アイディー	2
救命索発射銃(レスキューマックス#411)	1	ストップ	2
剣先スコップ	5	レスキューエイト	1
夜光反射ベスト	5	アッセンション	2
反射式合図灯	4	レスキューセnder	1
緩降機	0	スイベル	1
斧	1	ボー	2
つるはし	1	フットプロ	1
掛け矢	1	デ이지チェーン	5
中ハンマー	1	ピタゴール	2
とび口	1	セットキャタピラー	1
鋸	1	トランスポートザック	4
鉋	1	バスケットストレッチャー(分割式)	1
万能斧(弁慶)	2	フォーポイントブライドル	1
携帯警報器	0	ステップチョーク	2
金てこ	3	ロックブロック	一式
緊急救出救助用ジャッキ	1	電動インパクトレンチ	一式
登山用器具	一式	アリゾナボーテックス	一式
携帯型GPS	一式	救助用支柱器具(Vストラット)	一式
熱画像直視装置	0	ヘリ対応資機材	一式

19表 消防水利施設現況

区 分 区 域	消 火 栓				防 火 水 槽			合 計
	公 設		私 設		40m以上	40m未満		
	基準充足	基準不充足	基準充足	基準不充足		>20m3	井戸	
網 走	385		2		38	25		450
大 空	9	34			74	3		120
合 計	394	34	2		112	28		570

火災統計



20表 火災の概要

区分		令和2年(A)			令和元年(B)			増減数(A)-(B)=(C)			増減率 (C)/(B)*100
		網走	大空		網走	大空		網走	大空		
火災 件数 (件)	合 計	21	12	9	21	14	7		-2	2	0.0%
	建 物	10	7	3	10	8	2	0	-1	1	0.0%
	林 野										-
	車 両	5	4	1	7	5	2	-2	-1	-1	-28.6%
	船 舶										-
	航空機										-
	その他	6	1	5	4	1	3	2	0	2	50.0%
焼損棟数(棟)		14	9	5	16	13	3	-2	-4	2	-12.5%
り災世帯(世帯)		18	15	3	7	5	2	11	10	1	157.1%
り災人員(人)		44	32	12	10	7	3	34	25	9	340.0%
建物焼損床面積(m ²)		883	628	255	695	458	237	188	170	18	27.1%
建物焼損表面積(m ²)		347	344	3	176	170	6	171	174	-3	97.2%
林野焼損面積(a)											-
損害額(千円)		50,175	35,570	14,605	24,448	20,838	3,610	25,727	14,732	10,995	105.2%
死者数(人)		2	2					2	2		-
高 齢 者			1						1		-
負傷者数(人)		4	2	2	2	1	1	2	1	1	100.0%
出火率(件)		5.1	3.5	13.0	4.9	4.0	9.8	0.2	-0.5	3.2	4.1%

※出火率:人口1万人当たりの出火件数 (令和2年12月31日現在人口 網走 34,298人 大空 6,963人)

※高齢者:65歳以上

21表 建物火災用途別の火災発生状況

区分 用途別		火災 件数	焼損棟数				焼損面積(㎡)		り災		死者	高 齢 者	負傷者	損害額 (千円)
			全 焼	半 焼	部 分	ぼ や	床面積	表面積	世帯	人員				
総数		10	4	1	4	5	883	347	18	44	2	1	3	46,435
住宅火災		6		1	4	1	161	2	12	29				16,655
	一般住宅	4		1	2	1	81	1	6	17				10,829
	共同住宅	2			2		80	1	6	12			3	5,826
納屋、物置		2	3			1	454	1	1	3				14,266
破砕・リサイクル施設		1				1								0
複合用途		1	1			2	268	344	5	12	2	1		15,514

22表 原因別火災件数

原因別	火災種別								構成比
	全火災	建物	住宅	林野	車両	船舶	航空機	その他	
総 数	21	10	7		5			6	100%
たばこ	1	1	1						4.8%
こんろ	2	2	2						9.5%
排気管	1				1				4.8%
電灯・電話等の配線	0								0.0%
マッチ・ライター	1							1	4.8%
たき火	2							2	9.5%
その他	8	5	3		3				38.0%
不明	6	2	1		1			3	28.6%

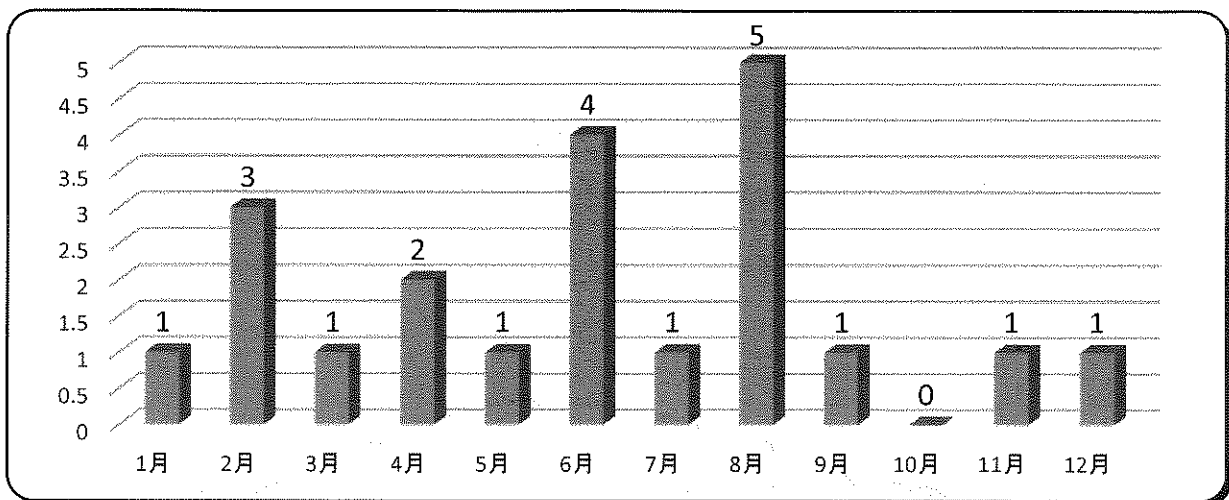
23表 消防団(分団)別火災の概要

区分		消防団別 網走消防団						女満別 消防団	東藻琴 消防団
		第1分団	第2分団	第3分団	第4分団	第5分団	第6分団		
出火件数 (件)	合 計	12	6	3		3		8	1
	建 物	7	5	1		1		3	
	住宅	4	3	1				2	
	林 野								
	車 両	4		2		2		1	
	船 舶								
	航空機								
	その他	1	1					4	1
焼損棟数(棟)		9	7	1		1		5	
り災世帯(世帯)		15	13	2				3	
り災人員(人)		32	29	3				12	
建物焼損床面積(m ²)		628	350	79		199		255	
建物焼損表面積(m ²)		344	344					3	
林野焼損面積(a)									
損害額(千円)		35,570	21,913	10,169		3,488		14,443	162
死者数(人)		2	2						
負傷者数(人)		2	2					2	

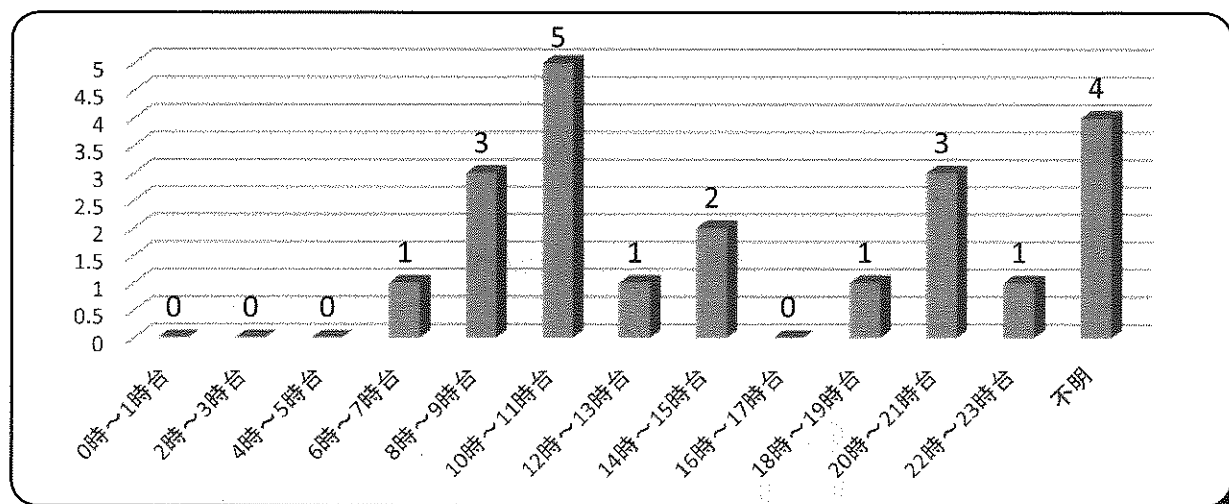
24表 初期消火の状況

	粉末消火器	水道等の水を かけた	その他	合計
消火に従事した件数	4	3	7	14
成功数	2	2	1	5
成功率	50%	66%	14%	35%

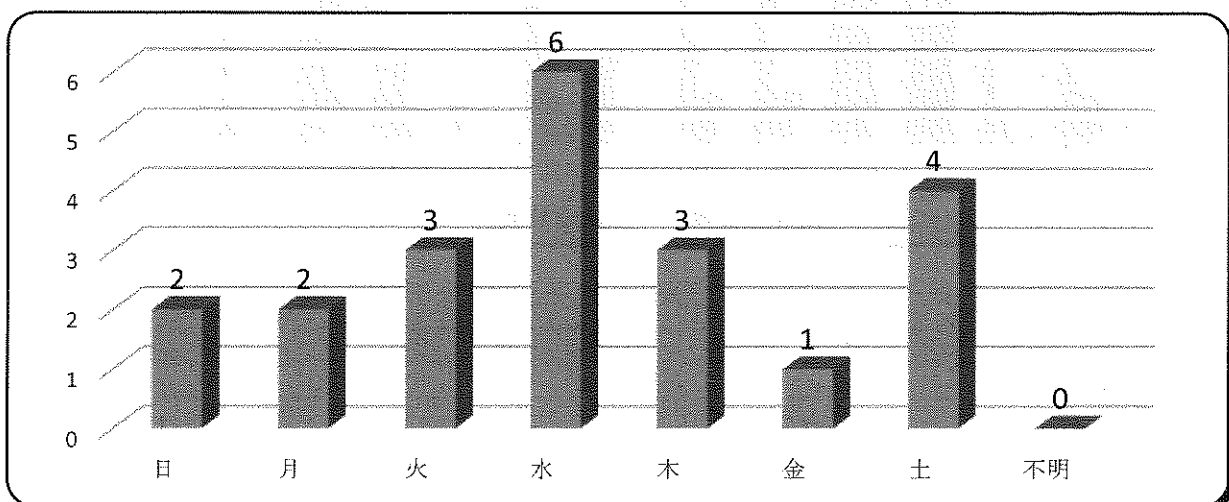
1図 月別火災件数



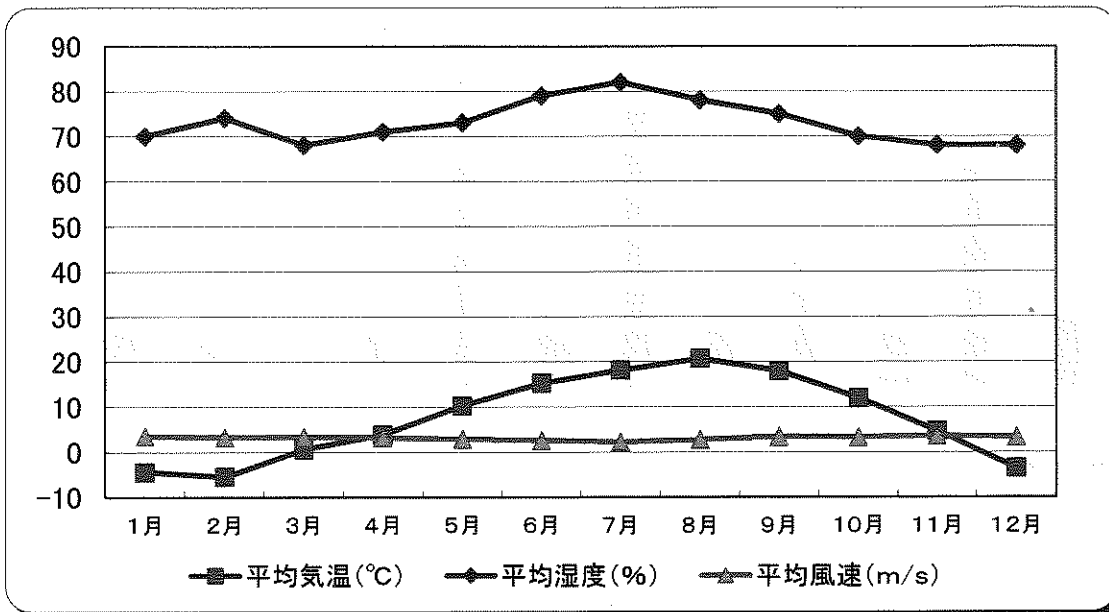
2図 時間帯別火災件数



3図 曜日別火災件数

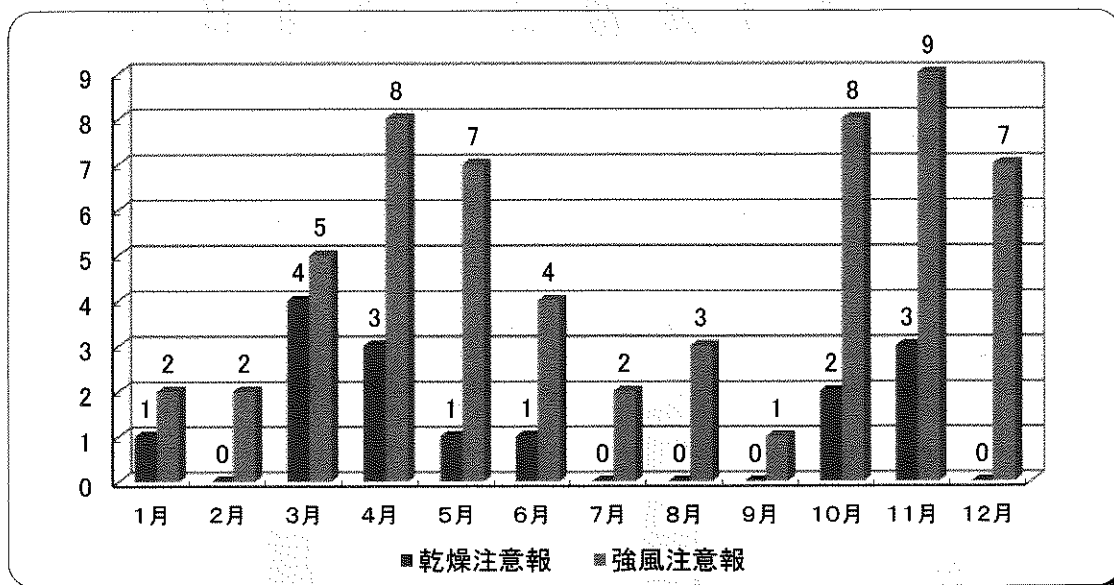


4図 月別気温・湿度・風速状況



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均気温(°C)	-4.4	-5.5	0.6	3.8	10.3	15.2	18.1	20.7	18.0	11.9	4.6	-3.6
平均湿度(%)	70	74	68	71	73	79	82	78	75	70	68	68
平均風速(m/s)	3.5	3.2	3.3	3.2	2.9	2.5	2.2	2.7	3.4	3.3	3.6	3.3

5図 乾燥注意報・強風注意報発令状況

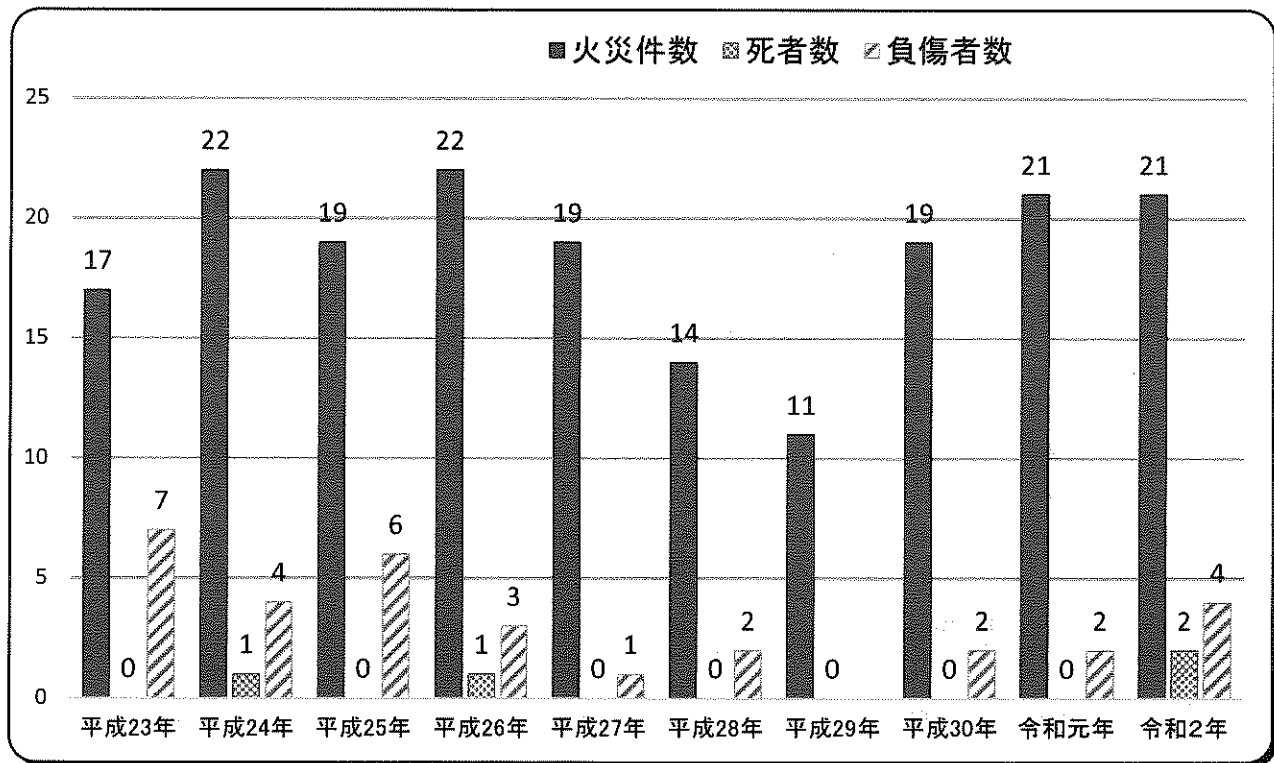


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
乾燥注意報	1	0	4	8	1	1	0	0	0	2	3	0
強風注意報	2	2	5	8	7	4	2	3	1	8	7	7

25表 過去10年間の推移

区分 年	火災件数(件)						焼損 床面積 (㎡)	死者 (人)	負傷者 (人)	損害額 (千円)	出火率
	合計	建物	林野	車両	船舶	その他					
平成23年	17	14		2		1	634		7	33,901	3.6
平成24年	22	16		1		5	1,466	1	4	40,276	4.7
平成25年	19	11		6		2	1,340		6	44,541	4.1
平成26年	22	10		4		8	3,540	1	3	147,464	4.8
平成27年	19	12		3		4	2,295		1	42,453	4.2
平成28年	14	12		1		1	4,708		2	149,220	3.2
平成29年	11	9				2	36			1,583	2.5
平成30年	19	13		1		5	851		2	160,559	4.4
令和元年	21	10		7		4	695		2	24,448	4.9
令和2年	21	10		5		6	883	2	4	50,175	5.1

※出火率:人口1万人当たりの出火件数



26表 組合発足以降の主な火災

区分 年月日	出火 所在地	用途	焼損棟数			罹災 人員	焼損 面積 (㎡)	損害額 (千円)	死 者	負 傷 者	原因
			全 焼	半 焼	部分 焼						
S47.1.14	東藻琴	住宅	1			4	111	945	1		煙突の過熱
2.15	網走	住宅	1			5	100	835	1		ストーブ
4.3	網走	住宅	1			1	20	30	1		不明
4.30	女満別	林野					3,136a	3,136		1	火入れの残り火
11.20	網走	車両						17,542			不明
S48.5.5	網走	林野					500a				たき火の火の粉
5.6	常呂	林野					100a				不明
5.7	網走	林野					130a	184			枯草焼の火の粉
7.30	常呂	工場	4				822	18,875		1	電球
S49.1.19	網走	併用住宅	1			5	152	10,861		2	不明
4.14	網走	住宅		1		5	41	2,529	2		不明
5.14	女満別	住宅	3			8	394	4,930	1	1	灯油ストーブ
6.22	常呂	住宅			1	2	14	447	1		たばこ
7.25	網走	倉庫	3			7	423	25,346		1	不明
10.2	網走	住宅		1	1	7	22	2,650	1		マッチ
S50.3.16	網走	加工場	2	1		20	758	28,667		1	火遊び
12.15	女満別	住宅	2			4	184	2,860	1		放火の疑い
12.25	網走	畜舎	1		2		431	12,046			電球
S51.2.11	網走	住宅	1			1	89	424	1		不明
8.15	女満別	作業場	1				394	11,714			不明
11.1	網走	併用住宅	1			4	125	23,120			不明
11.18	網走	長屋住宅			1	8	44	5,344	2	2	不明
S52.1.1	網走	旅館	3		1	15	1,716	49,343		5	不明
1.16	網走	車両						566	1		不明
1.16	網走	共同住宅			1	3	23	998	1		不明
2.16	網走	冷蔵庫	1		2		2,112	253,998			不明
5.26	東藻琴	学校	1				757	18,770			焼却炉の火の粉
6.14	網走	住宅	1		3	5	52	929	1		不明
11.10	網走	住宅	1			5	144	11,482		2	ストーブの輻射熱
S53.3.7	網走	住宅		1		2	33	552	1		不明
4.24	網走	林野					100a				たき火
5.7	女満別	林野					242a	2,388			火入れの火の粉
5.7	網走	林野					365a	105			たき火の飛火
8.25	網走	住宅			1	2		2,343	1		LPガス爆発
10.30	網走	住宅			1	4		5	1	1	ストーブの輻射熱
S54.2.21	女満別	畜舎	1		1		556	22,591			トラクターの排気管
2.28	網走	学校	2				1,686	54,148			不明

区分 年月日	出火 所在地	用途	焼損棟数			罹災 人員	焼損 面積 (㎡)	損害額 (千円)	死 者	負 傷 者	原因
			全 焼	半 焼	部分 焼						
6.11	網走	店舗			1		259	14,513			煙突輻射熱
7.13	網走	住宅			1	1	30	1,281	1		不明
11.1	網走	倉庫	1				455	40,402			不明
S55.2.22	網走	住宅	1			2	75	1,042	1		不明
5.14	東藻琴	林野					1,289a				火入れの火の粉
10.9	網走	住宅	1	1		5	118	10,271		1	ローソク
11.14	網走	住宅	1			6	68	4,137	2		ストーブの輻射熱
S56.5.6	網走	店舗	1			8	579	24,376			ガスバーナー
6.7	常呂	倉庫	1		1	5	305	17,658			不明
12.27	常呂	畜舎	2				508	12,005			ストーブ
S57.1.13	東藻琴	倉庫	1				1,346	40,890			不明
3.27	網走	船舶						15,000			電気ストーブ
4.25	網走	車庫	1	1		13	231	29,087			不明
6.12	網走	倉庫	2		1	6	253	12,182			取灰
9.10	網走	住宅	1		1	3	77	11,875		2	プロパンガス爆発
12.18	東藻琴	倉庫	1				225	10,598			溶接機
12.25	網走	その他							1		放火
S58.1.6	網走	その他							1		放火
2.6	網走	倉庫	1		1		679	20,420			不明
6.16	網走	住宅	1		1	5	58	16,236			不明
6.24	網走	共同住宅	1	2		13	403	30,736	1	1	不明
11.1	網走	住宅	1			11	136	10,861			火遊び
12.16	女満別	住宅	1			5	107	12,577			ガスコンロ
S59.1.1	網走	住宅		1		6	63	9,673	1		ローソクの炎
1.25	網走	倉庫	2				337	12,412			ストーブの輻射熱
11.12	網走	旅館	1			3	699	55,499		7	放火の疑い
12.7	常呂	倉庫	5		2	6	724	6,227			不明
S60.9.10	網走	併用住宅	1			3	170	12,379			不明
10.31	網走	長屋住宅		1		6	41	2,464	1	2	プロパンガス爆発
S61.1.1	網走	併用住宅		1		5	110	13,692			ゴミ焼
2.24	網走	店舗	1		1		136	14,721			ストーブの輻射熱
10.2	女満別	その他							1		放火
12.27	常呂	倉庫	1		1		1,005	194,218			不明
S62.4.21	網走	林野					200a				不明
6.8	女満別	作業場	1				330	20,264			不明
12.21	網走	倉庫	1				2,799	185,411			不明
S63.2.16	東藻琴	住宅	1			6	119	15,689	2		不明
7.10	網走	その他							1		放火
10.2	女満別	住宅	1			2	75	11,103			たばこ

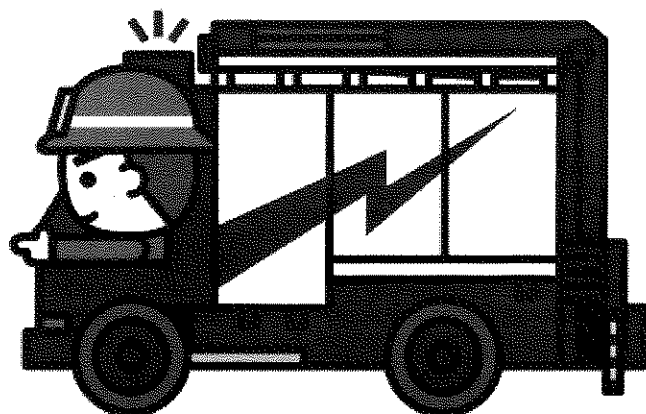
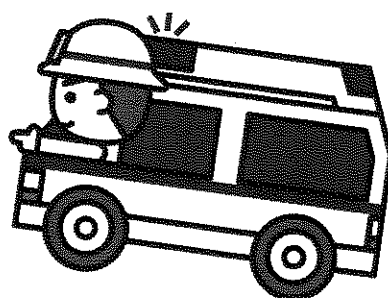
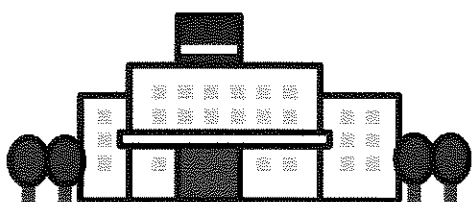
区分 年月日	出火 所在地	用途	焼損棟数			罹災人員	焼損 面積 (㎡)	損害額 (千円)	死者	負傷者	原因
			全 焼	半 焼	部分 焼						
10.11	東藻琴	畜舎	1				2,888	81,973			牧草の自然発火
S64.1.7	女満別	住宅	1			5	149	13,828		1	石油ストーブ
H1.1.26	東藻琴	住宅	1			8	122	14,734			風呂釜
3.16	網走	併用住宅		1		5	129	38,248		2	不明
10.10	網走	その他							1		放火
H2.1.22	常呂	住宅	1			6	135	18,342			ガステーブルランプの炎
2.1	網走	併用住宅			1		13	80,105			不明
H3.6.25	常呂	倉庫	1				465	18,778			石炭ストーブ輻射熱
8.22	網走	作業場	1				2,350	93,935			不明
9.30	網走	事務室	1				192	19,431			不明
11.20	常呂	併用住宅	1			7	486	30,579			冷凍機の過熱
12.1	女満別	住宅	1			6	151	18,904			石油ストーブ
12.15	女満別	併用住宅		1		1	57	23,321			石油ストーブ
H4.2.19	網走	工場			1		18	12,886		1	乾燥機からの漏油
3.4	網走	住宅	1			3	35	2,604	2	1	不明
4.19	網走	工場		1			157	29,882			ガス設備の消し忘れ
5.11	常呂	林野					1,300a	562			車の排気筒
5.18	網走	作業場	1				195	23,880			ゴミ焼の飛火
10.20	網走	住宅	1				79	932	1		不明
H5.1.26	女満別	公民館	1				284	25,114			たばこ
2.6	網走	長屋住宅		1	1	5	43	6,012	1	3	プロパンガス爆発
5.1	網走	神殿	1				55	11,747			火遊び
5.9	女満別	専用住宅	1			5	194	22,783			煙突輻射熱
H6.10.18	女満別	専用住宅	1			2	101	10,697			煙突輻射熱
H7.1.11	常呂	専用住宅	1			8	225	10,262		1	火の着いた紙
4.7	女満別	車両						77	1		放火
7.30	網走	養畜舎	3				1,408	94,031			不明
9.1	網走	養畜舎	1				1,118	15,644			漏電
H8.7.18	常呂	倉庫		1			668	14,695			低温着火
10.23	網走	船舶						12,585			不明
H9.5.4	女満別	納屋	1				559	7,090			不明
6.18	女満別	専用住宅	1			8	164	32,089		1	たばこ
9.19	網走	作業所	1				410	15,357			モーター(過電流)
H10.4.13	網走	店舗			1		27	49,916			不明
5.8	網走	住宅・飲食店			1	6	46	10,021			たばこ
6.11	網走	住宅	1			2	93	15,810			放火
8.31	網走	飲食店		1			211	42,121			放火の疑い
9.19	女満別	専用住宅	1			2	147	19,947			放火
H11.10.30	網走	専用住宅	1			5	86	17,233			火遊び

区分 年月日	出火 所在地	用途	焼損棟数			罹災 人員	焼損 面積 (㎡)	損害額 (千円)	死 者	負 傷 者	原因
			全 焼	半 焼	部分 焼						
11.26	常呂	専用住宅	1			5	150	22,088			ストーブ
H12.3.不明	網走	車両						200	1		不明
5.25	網走	店舗	1		2	7	622	27,268			電灯等の配線
6.22	網走	事務所・共住			1	4	4	1,128	2	2	放火の疑い
7.29	網走	その他							1		放火
9.11	網走	専用住宅	1			2	97	11,906			不明
H13.1.29	網走	倉庫	4			10	507	27,163			不明
2.1	網走	牛舎	1				621	28,442			ストーブ
5.3	網走	専用住宅	1			2	45	2,419	2		たばこ
H14.4.7	網走	牛舎	1				591	4,210			不明
8.7	東藻琴	車両						50	1		放火
12.16	網走	住宅・店舗	1			5	200	37,787			放火
H15.9.11	網走	専用住宅	1			2	97	2,103	1		ガステーブル
9.12	網走	作業所・住宅			1	2	28	2,281	1		放火
9.24	女満別	専用住宅	1			7	156	18,654	1		ローソクの炎
11.24	網走	共同住宅			1	3	32	597	1		電気ストーブ
H16.1.19	網走	専用住宅		1		2		290	1		バーナー
7.26	網走	専用住宅	1			2	189	7,513	2		不明
H17.1.17	網走	専用住宅	1			3	137	3,797	1		放火
2.18	網走	専用住宅		1		5	41	2,257	1	2	不明
3.18	網走	堆舎	1		1		365	10,312		1	電気制御盤
9.16	常呂	倉庫	1		1		674	7,143		1	不明
10.6	網走	専用住宅	1			2	160	12,924			発電機
H18.4.2	網走	事務所		1			80	13,202			冷蔵庫
6.5	網走	専用住宅	1			2	109	8,618	2		放火
8.15	大空	倉庫	1				18	14,244			不明
12.29	大空	共同住宅		1		2	147	26,869			ストーブ
H19.3.13	網走	専用住宅	1			2	97	11,610	1	1	不明
12.22	網走	工場	1				1,271	89,977			不明
H20.1.12	網走	工場			1		25	54,108			不明
1.25	網走	物置	1				646	3,105			電灯等の配線
5.19	網走	店舗併用住宅	2	1		4	284	111,118			不明
H21.4.2	網走	作業場		1			150	10,431			火のついたゴミ
7.6	網走	加工場	1		1		547	8,950			不明
9.15	網走	専用住宅			1	2		75	1		放火
9.18	網走	専用住宅	1			3	142	17,246		1	不明
H22.6.26	大空	養畜舎	1				959	41,888			不明
7.22	網走	専用住宅				2		72	1		放火
12.16	網走	専用住宅	1			2	132	12,914	1		不明

区分 年月日	出火 所在地	用 途	焼損棟数			罹 災 人 員	焼 損 面 積 (㎡)	損 害 額 (千円)	死 者	負 傷 者	原 因
			全 焼	半 焼	部 分 焼						
H23.11.11	大空	専用住宅	1			6	155	21,898			たばこ
H24.3.28	網走	専用住宅			1	7	54	11,654			ストーブ
7.23	大空	専用住宅	1			5	149	10,060	1		不明
12.4	網走	作業場	1			2	1,001	3,052			不明
H25.7.16	網走	専用住宅	1			2	130	14,288		1	不明
11.7	網走	置場	1				846	11,527			不明
H26.4.26	網走	専用住宅		1		1	91	5,856	1		不明
9.16	大空	養畜舎	1				2,628	108,909			不明
10. 2	大空	共同住宅			1	6	6	15,285			ガスコンロ
H27. 4. 5	網走	一般倉庫	2		2		1,182	7,944			不明
8.25	大空	堆肥舎			2		643	23,385			熔融片
H28. 3.10	網走	作業場	1			2	538	5,763			ストーブ
H28. 5.16	大空	納屋	1		2		234	10,723		1	不明
H28. 5.20	網走	養畜舎			1		3,669	122,778			不明
H30. 8. 4	網走	乾燥機						136,307			不明
11.17	大空	作業場		1			137	11,018			その他の油を燃料とする固定設備
R1 .8.28	網走	専用住宅	1			5	145	13,312			電灯・電話等の配線
R2.2.8	大空	一般倉庫	2			3	255	13,343			不明
R2.6.10	網走	複合用途	1			12	268	15,514	2		不明

注) 本統計は死者の生じた火災、焼損面積500㎡以上の火災、損害額1,000万円以上の火災、焼損面積100a以上の林野火災及び特殊火災を列記

救急 · 救助



27表 前 年 対 比

年	区 分	出 場 件 数	一 日 当 り の 件 数	搬 送 人 員	一 日 当 り の 人 員	事 故 種 別 (件数)				活 動 状 況		
						急病	交通 事故	一般 負傷	その他	延べ時間 (時・分)	延べ走行距離 (km)	
												比 率 (%)
R2年	1,714	4.70	1,573	4.31	1,084	59	255	316	1531.47	32,361.0		
					63.2%	3.4%	14.9%	18.4%				
R1年	1,927	5.28	1,796	4.92	1,154	81	244	448	1777.49	40,774.4		
					59.9%	4.2%	12.7%	23.2%				

28表 救 急 体 制 調

救急隊数	救急自動車数	救 急 隊 員			医 療 機 関						合 計
					救急告示医療機関			その他の医療機関			
		専任	兼任	合計	病院	診療所	小計	病院	診療所	小計	
4	6	4	62	66	4		4	1	15	16	20

29表 出場件数・搬送人員

事故種別 区 分		火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
網 走	出場件数	14		4	52	7	4	194	6	16	892	185	1,374
	不 搬 送	13		3	8			11	2	9	75	6	127
	搬送人員	2		1	46	7	4	184	4	7	817	179	1,251
大 空	出場件数	2			7	9	1	61		2	192	66	340
	不 搬 送							1			18		19
	搬送人員	2			8	9	1	60		2	174	66	322
合 計	出場件数	16		4	59	16	5	255	6	18	1084	251	1,714
	不 搬 送	13		3	8			12	2	9	93	6	146
	搬送人員	4		1	54	16	5	244	4	9	991	245	1,573

30表 傷 病 程 度 別 搬 送 人 員

区 域 程 度		網 走	大 空	合 計	比 率
死 亡		40	7	47	3.0%
重 症		326	82	408	25.9%
中 等 症		487	141	628	39.9%
軽 症		396	92	488	31.0%
そ の 他		2		2	0.2%
合 計		1,251	322	1,573	100.0%

注) 死 亡とは、初診時において死亡が確認されたもの。

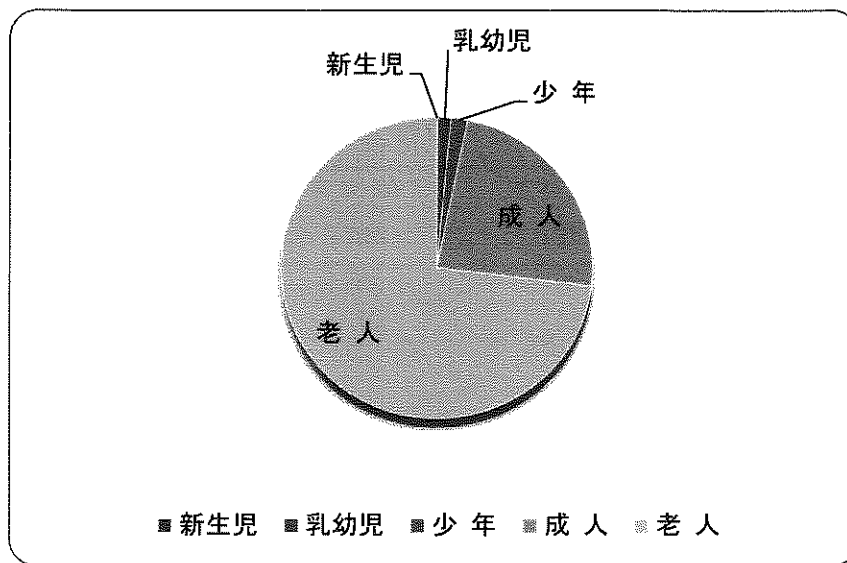
重 症とは、傷病の程度が3週間の入院加療を必要とするもの。

中等症とは、傷病の程度が重症又は軽症以外のもの。

軽 症とは、傷病の程度が入院加療を必要としないもの。

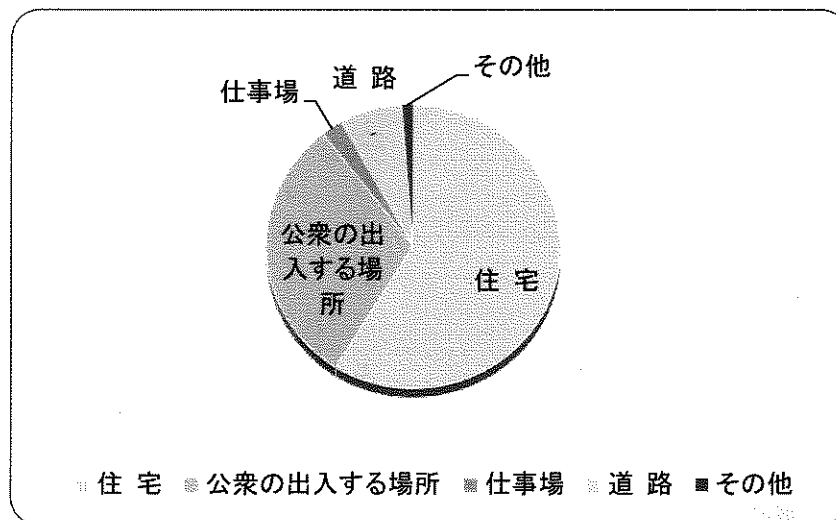
その他とは、医師の診断がないもの及び搬送先がその他の場所へ搬送したもの。

6図 年齢別搬送人員



	新生児	乳幼児	少年	成人	老人	計
人数	2	21	27	373	1,150	1,573
割合	0.1%	1.3%	1.7%	23.7%	73.1%	100.0%

7図 発生場所別搬送人員



	住宅	公衆の出入する場所	仕事場	道路	その他	計
人数	924	483	38	108	20	1,573
割合	58.7%	30.7%	2.4%	6.9%	1.3%	100.0%

31表 医療機関別搬送人員

開設者 救急 告示の別	医 療 機 関						その他の場所			合計
	国立	公立	公的	私的病院	私的診療所	小計	接骨院	空港等	小計	
救急告示	1	24	1,092	410	1	1,528				1,528
非告示		11	2	11	19	43		2	2	45
計	1	35	1,094	421	20	1,571		2	2	1,573

32表 救急隊員の行った応急処置状況

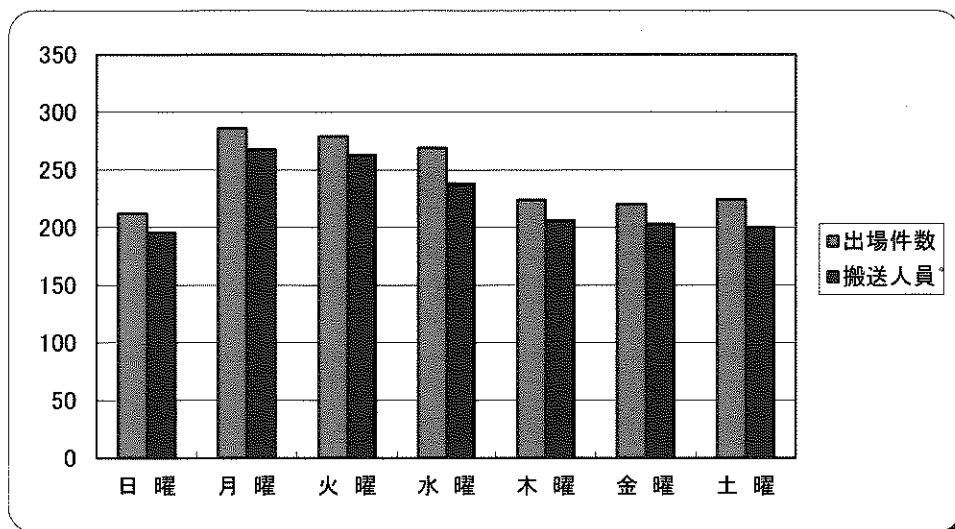
事故種別 応急処置対象搬送人員	急病	交通事故	一般負傷	その他	計
処置項目	991	53	240	244	1,528
止血	3	1	33	7	44
固定	6	22	27	17	72
人工呼吸	10		1	2	13
心マッサージ	5				5
心肺蘇生	44		1	3	48
酸素吸入	234	3	28	89	354
気道確保	57		5	7	69
※1					
※2	4		2		6
※3	29			1	30
※4	1			1	2
保温	9	1	2		12
被覆	3	1	31	8	43
在宅療法	25		4		29
※A	5		1		6
※B	5				5
※C	17		3		20
ショックパンプ血圧保持					
除細動	2				2
輸液	5				5
薬剤投与	1				1
その他	834	26	177	143	1,180
血圧測定	932	53	227	171	1,383
心音・呼吸音等聴取	216	14	60	71	361
血中酸素飽和度の測定	944	52	233	203	1,432
心電図	481	7	34	82	604
静脈路確保	CPA前 3				3
	CPA後 2				2
血糖測定	48		1		49
エピペン投与					
ブドウ糖投与	2				2
計	3,866	180	864	803	5,713

1. 気道確保 気道の確保のための処置並びに口腔内の清拭及び吸引の処置をいい、内数欄は次により区分する。
 ※1 経鼻エアウェイを使用しての気道確保
 ※2 喉頭鏡・鉗子等による異物除去
 ※3 救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、ラリングアルマスク等を使用
 しての気道確保
 ※4 救急救命士が気管挿管処置を実施しての気道確保
2. 在宅療法 在宅療法継続中の傷病者に対しその療法維持のために行った必要な処置(安全確保等に留意し観察
 等を行ったことも含む。)及び在宅療法に異常があった場合に行った応急処置をいい、内数欄は継続中
 の処置内容に応じ次により区分する。
 ※A 在宅中心静脈栄養管理・在宅科学療法等により点滴処置が施されているもの。
 ※B 気管切開孔又は気管瘻、人口肛門等の外瘻処置が施されているもの。
 ※C ※A、※B以外の処置が施されているもの。

33表 月別救急業務実施状況

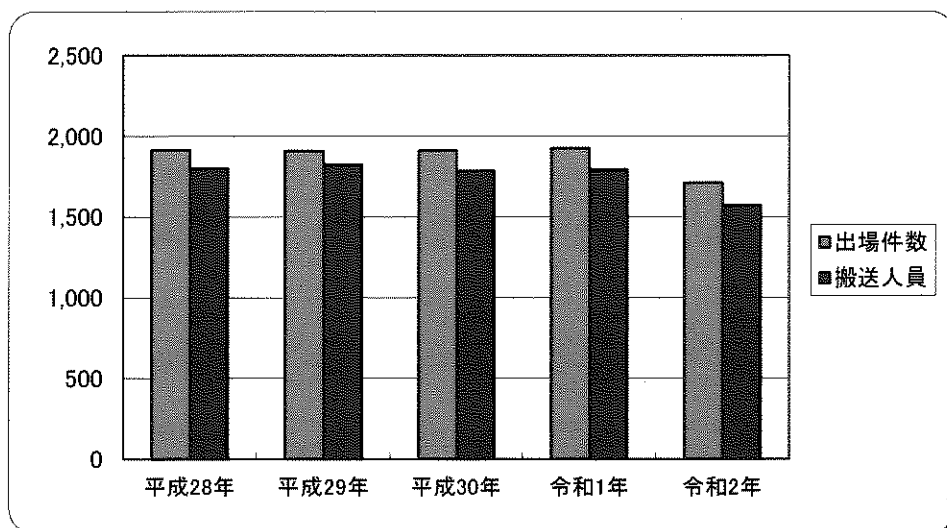
月	区分 件・人	火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	合
		災	災害	難	通	働	動	般	害	損	病	他	計
1月	出場件数	2			3	1	1	22	1	3	100	28	161
	搬送人員				2	1	1	22	1	3	88	27	145
2月	出場件数	2		1	7	3	1	26		2	87	16	145
	搬送人員	2			8	3	1	26		1	78	16	135
3月	出場件数	2			3	1		12	1	1	74	12	106
	搬送人員	1			3	1		11	1		69	12	98
4月	出場件数	1			5	1		14	1	4	91	11	128
	搬送人員				5	1		11		2	81	11	111
5月	出場件数				2	1		14		2	85	22	126
	搬送人員				2	1		12		1	74	21	111
6月	出場件数	4		1	1	2		21	1		85	20	135
	搬送人員	1		1	1	2		20	1		77	20	123
7月	出場件数	1			11	2	1	23			87	20	145
	搬送人員				11	2	1	22			80	20	136
8月	出場件数	1		1	4			22	2	1	120	33	184
	搬送人員				4			23	1	1	107	30	166
9月	出場件数	2			5	1	1	27		2	101	29	168
	搬送人員				4	1	1	27			100	29	162
10月	出場件数				4			16		2	84	21	127
	搬送人員				3			13		1	78	21	116
11月	出場件数			1	6	3	1	33			84	20	148
	搬送人員				4	3	1	32			80	19	139
12月	出場件数	1			8	1		25		1	86	19	141
	搬送人員				7	1		25			79	19	131
合計	出場件数	16		4	59	16	5	255	6	18	1,084	251	1,714
	搬送人員	4		1	54	16	5	244	4	9	991	245	1,573

8図 曜日別出場件数及び搬送人員



曜日	日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
出場件数	212	286	279	269	224	220	224
搬送人員	195	268	263	238	206	203	200

9図 既往5ヵ年救急活動状況

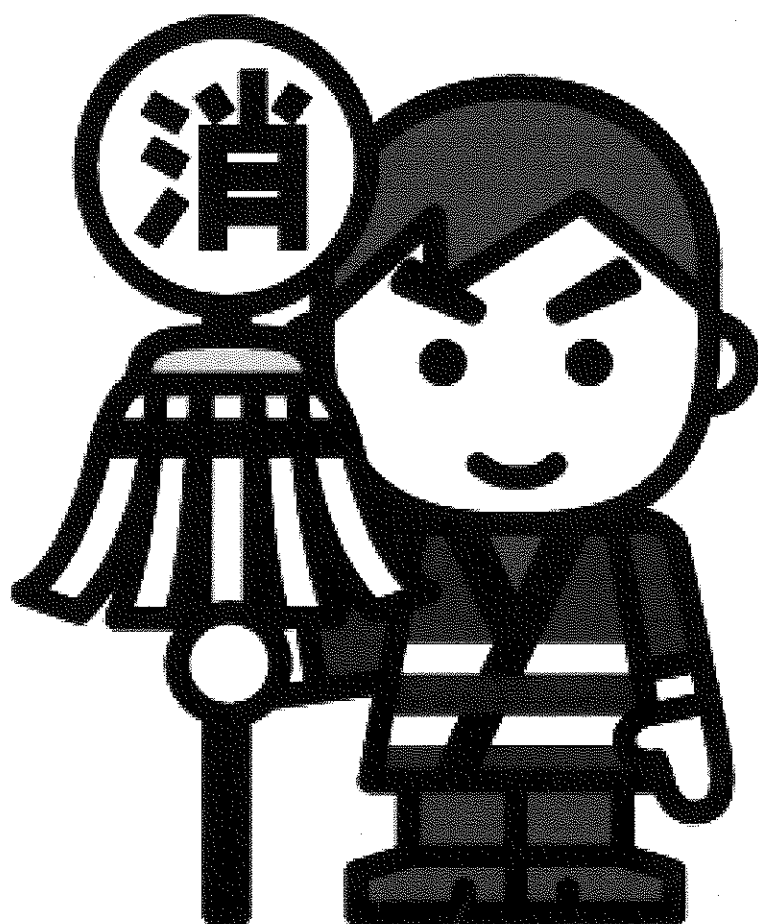


年	平成28年	平成29年	平成30年	令和1年	令和2年
出場件数	1,916	1,910	1,911	1,927	1,714
搬送人員	1,802	1,825	1,786	1,796	1,573

34表 既往5ヶ年救助活動状況

年	事故種別 区分	火	交	水	風	機	建	ガ	爆	そ	計
		災	通 事 故	難 事 故	水 害 等 自 然 災 害	械 に よ る 事 故	物 等 に よ る 事 故	ス 及 び 酸 欠 事 故	発 事 故	の 他 の 事 故	
R2	出動件数		9	4		1				2	16
	救助人員		5	4		1				1	11
R1	出動件数		10	1		1				3	15
	救助人員		9	1		1				3	14
H30	出動件数		8	1						3	12
	救助人員		10							1	11
H29	出動件数		8	4	1	1		1		5	20
	救助人員		11	2		1		1		5	20
H28	出動件数		7	8		1				4	20
	救助人員		10	4		1				4	19
合計	出動件数		42	18	1	4		1		17	83
	救助人員		45	11		4		1		14	75

予防・危険物



35表 危険物施設数

製造所等の別 区 分		総 数	製造 所	貯 蔵 所						取 扱 所			左 記 以 外	
				小 計	屋 外 タン ク	屋 内 タン ク	地 下 タン ク	移 動 タン ク	屋 外	屋 内	小 計	給 油		一 般
総 数		453		300	37	6	156	87	1	13	153	59	94	
地 域 別	網 走	344		220	27	6	121	54	1	11	124	43	81	
	大 空	109		80	10		35	33		2	29	16	13	
指定 数量 の 倍 数 別	5倍以下	208		154	5	4	86	53		6	54	2	52	
	5倍を超え 10倍以下	106		76	19	2	30	20		5	30	8	22	
	10倍を超え 50倍以下	74		43	8		25	8	1	1	31	18	13	
	50倍を超え 100倍以下	27		16	2		8	5		1	11	5	6	
	100倍を超え 150倍以下	9		4	1		2	1			5	5		
	150倍を超え 200倍以下	15		3	2		1				12	11	1	
	200倍を超え 1,000倍以下	14		4			4				10	10		
	1,000倍を超えるもの													

36表 危険物施設許認可状況(処理件数)

製造所等の別 区 分		総 数	製 造 所	貯 蔵 所						取 扱 所			左 記 以 外	
				小 計	屋 外 タン ク	屋 内 タン ク	地 下 タン ク	移 動 タン ク	屋 外	屋 内	小 計	給 油		一 般
総 数		102		21			8	13			26	21	5	55
許 可	設 置	7		5			2	3			2	1	1	
	変 更	16		6			2	4			10	8	2	
完成検査	設 置	5		4			1	3			1	1		
	変 更	15		5			2	3			10	8	2	
完 成 検 査 前 検 査														
仮 使 用 承 認		4		1			1				3	3		
仮貯蔵・仮取扱承認		55												55

37表 防火対象物現況

区 分 用途区分			防火対象物数			防火管理者選任 義務対象物数				予防査察 (延件数)
			合計	網 走	大 空	合計	甲 種	乙 種	選任済	
総 数			2,094	1,632	462	642	549	93	524	104
1 項	イ	劇場、映画館、観覧場等	1	1		1	1		1	
	ロ	公会堂、集会場	27	19	8	30	22	8	25	8
2 項	イ	キャバレー、カフェー等	1	1		1		1	1	
	ロ	遊戯場、ダンスホール	8	7	1	9	9		7	
	ハ	性風俗関連店舗等								
	ニ	カラオケボックス等								
3項	イ	待合、料理店								
	ロ	飲食店	61	57	4	56	25	31	40	12
4 項		百貨店等、店舗、展示場等	89	80	9	77	55	22	69	18
5 項	イ	旅館、ホテル等	65	57	8	30	29	1	28	4
	ロ	共同住宅、下宿等	505	444	61	76	76		63	3
6 項	イ	病院、診療所等	28	26	2	12	11	1	12	2
	ロ	老人短期入所施設等	25	21	4	22	22		22	2
	ハ	老人デイサービスセンター等	46	41	5	23	19	4	21	3
	ニ	幼稚園、特別支援学校等	10	8	2	10	10		9	2
7 項		学校、各種学校	54	46	8	27	27		27	5
8 項		図書館、博物館、美術館等	12	10	2	10	10		10	1
9項	イ	蒸気浴場、熱気浴場等								
	ロ	一般の公衆浴場	2	1	1	1	1		1	1
10 項		停車場、発着場	4	3	1	2	2		2	
11 項		神社、寺院、教会等	53	40	13	33	26	7	29	4
12 項	イ	工場、作業場	268	196	72	23	23		19	2
	ロ	映画・テレビスタジオ								
13項	イ	自動車車庫、駐車場	46	29	17	2	2		2	1
	ロ	飛行機等の格納庫	1		1					
14 項		倉庫	206	151	55					
15 項		その他の事業所	358	226	132	81	74	7	66	10
16項	イ	特定複合用途	154	113	41	94	83	11	58	23
	ロ	特定以外複合用途	66	51	15	13	13		8	3
17 項		重要文化財等	4	4		9	9		4	

※ の対象物は、「特定防火対象物」

38表 中高層建築物の現況

地上階層 用途区分			総 数	4 階	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	10 階	11 階
総 数			201	112	48	19	8	5	6	1	2
1 項	イ	劇場、映画館、観覧場等									
	ロ	公会堂、集会場									
2 項	イ	キャバレー、カフェー等									
	ロ	遊戯場、ダンスホール									
	ハ	性風俗関連店舗等									
	ニ	カラオケボックス等									
3 項	イ	待合、料理店									
	ロ	飲食店	8	2	4	2					
4 項		百貨店等、店舗、展示場等									
5 項	イ	旅館、ホテル等	24	7	3	4	4	1	4		1
	ロ	共同住宅、下宿等	113	73	26	6	3	2	1	1	1
6 項	イ	病院、診療所等	7	2	4				1		
	ロ	老人短期入所施設等									
	ハ	老人デイサービスセンター等									
	ニ	幼稚園、特別支援学校等									
7 項		学校、各種学校	4	4							
8 項		図書館、博物館、美術館等									
9 項	イ	蒸気浴場、熱気浴場等									
	ロ	一般の公衆浴場									
10 項		停車場、発着場									
11 項		神社、寺院、教会等									
12 項	イ	工場、作業場									
	ロ	映画・テレビスタジオ									
13 項	イ	自動車車庫、駐車場									
	ロ	飛行機等の格納庫									
14 項		倉庫									
15 項		その他の事業所	20	15	2	2	1				
16 項	イ	特定複合用途	16	7	3	5		1			
	ロ	特定以外複合用途	9	2	6			1			
17 項		重要文化財等									

※ の対象物は、「特定防火対象物」

39表 月別建築同意処理状況

区分 月別	新 築		増 築		改 築		その他		総数	
	件	面積(㎡)	件	㎡	件	面積(㎡)	件	面積(㎡)	件	面積(㎡)
総数	28	14,238.18	18	5,812.31	1	834.18			47	20,884.67
1 月			1	408.34					1	408.34
2 月			1	590.20					1	590.20
3 月	5	748.21							5	748.21
4 月	3	1,202.28							3	1,202.28
5 月	4	3,192.22	2	1,452.21					6	4,644.43
6 月	2	705.86	3	275.53					5	981.39
7 月	4	1,865.54	1	35.19					5	1,900.73
8 月	2	555.12	1	66.24	1	834.18			4	1,455.54
9 月			2	1,319.87					2	1,319.87
10 月	6	5,756.47	3	887.80					9	6,644.27
11 月	2	212.48	3	756.93					5	969.41
12 月			1	20.00					1	20.00

40表 月別構造・棟別建築同意処理状況

区分 月別	耐 火		準耐火		防 火		その他		総数	
	棟	面積(㎡)	棟	面積(㎡)	棟	面積(㎡)	棟	面積(㎡)	棟	面積(㎡)
総数	4	6,288.24	21	6,999.11	28	4,397.32	3	3,200.00	56	20,884.67
1 月					1	408.34			1	408.34
2 月			2	590.20					2	590.20
3 月			1	163.90	4	584.31			5	748.21
4 月			1	767.76	4	434.52			5	1,202.28
5 月			2	680.83	3	960.47	2	3,003.13	7	4,644.43
6 月			1	281.88	4	699.51			5	981.39
7 月			4	1,776.11	2	124.62			6	1,900.73
8 月	1	834.18			4	621.36			5	1,455.54
9 月	2	1,263.89			1	55.98			3	1,319.87
10 月	1	4,190.17	5	2,070.62	4	383.48			10	6,644.27
11 月			4	647.81	1	124.73	1	196.87	6	969.41
12 月			1	20.00					1	20.00

41表 用途別建築同意処理状況

種別 区分		工 事 種 別								総 数	
		新築		増築		改築		その他		棟	面積(㎡)
		棟	面積(㎡)	棟	面積(㎡)	棟	面積(㎡)	棟	面積(㎡)		
総 数		33	14,238.18	22	5,812.31	1	834.18			56	20,884.67
1 項	イ										
	ロ										
2 項	イ										
	ロ										
	ハ										
	ニ										
3 項	イ										
	ロ	1	90.75							1	90.75
4 項		3	342.76							3	342.76
5 項	イ										
	ロ	3	1,209.43							3	1,209.43
6 項	イ	3	889.67							3	889.67
	ロ	1	4,190.17							1	4,190.17
	ハ	1	1,164.24			1	834.18			2	1,998.42
	ニ			2	132.48					2	132.48
7 項											
8 項											
9 項	イ										
	ロ										
10 項											
11 項											
12 項	イ	2	1,737.89	6	2,365.68					8	4,103.57
	ロ										
13 項	イ										
	ロ										
14 項		1	281.88							1	281.88
15 項		5	3,106.82	9	3,042.67					14	6,149.49
16 項	イ										
	ロ	2	501.30							2	501.30
17 項											
住 宅	住 宅	7	621.86	1	17.79					8	639.65
	付 随 建築物	2	51.98	4	253.69					6	305.67
そ の 他		2	49.43							2	49.43

42表 消防用設備等の検査状況

件 数		総数	網走	大空
消防用設備等				
総 数		93	76	17
消火設備	消火器設置	15	11	4
	屋内消火栓設備	5	4	1
	スプリンクラー設備	5	5	
	水噴霧・泡・不活性ガス等消火設備			
	屋外消火栓設備	1	1	
	動力消防ポンプ設備			
警報設備	自動火災報知設備	45	37	8
	消防機関へ通報する火災報知設備	3	2	1
	非常警報設備	8	7	1
避難設備	避難器具	2	2	
	誘導灯	9	7	2
消防用水				
消火活動上 必要な施設	連結送水管			
	連結散水設備			
	非常コンセント設備			

43表 法令・条例に基づく各種届出状況

件 数		総数	網走	大空
届出の種類				
総 数		1,818	1,315	503
消 防 法 に よ る 届 出	小 計	1381	1019	362
	防火・防災管理者選解任届	123	89	34
	統括防火・防災管理者選任解任届			
	消防計画作成(変更)届(全体についての含む)	63	57	6
	危険物保安監督者選解任届	12	10	2
	圧縮アセチレンガス等の貯蔵・取扱い届	3	3	
	消防用設備等点検結果報告	1180	860	320
火 災 予 防 条 例 に よ る 届 出	小 計	437	296	141
	防火対象物使用開始届	26	14	12
	炉、厨房設備、ボイラー等設置届	12	10	2
	発電、変電、蓄電池設備設置届	19	14	5
	火災とまぎらわしい煙等を発するおそれのある行為の届	133	34	99
	煙火打上げ、仕掛け届	6	5	1
	催物開催届			
	少量危険物・指定可燃物貯蔵・取扱い届	28	19	9
	道路工事届	201	191	10
	露店等の開設届	12	9	3

44表 防火管理講習受講状況

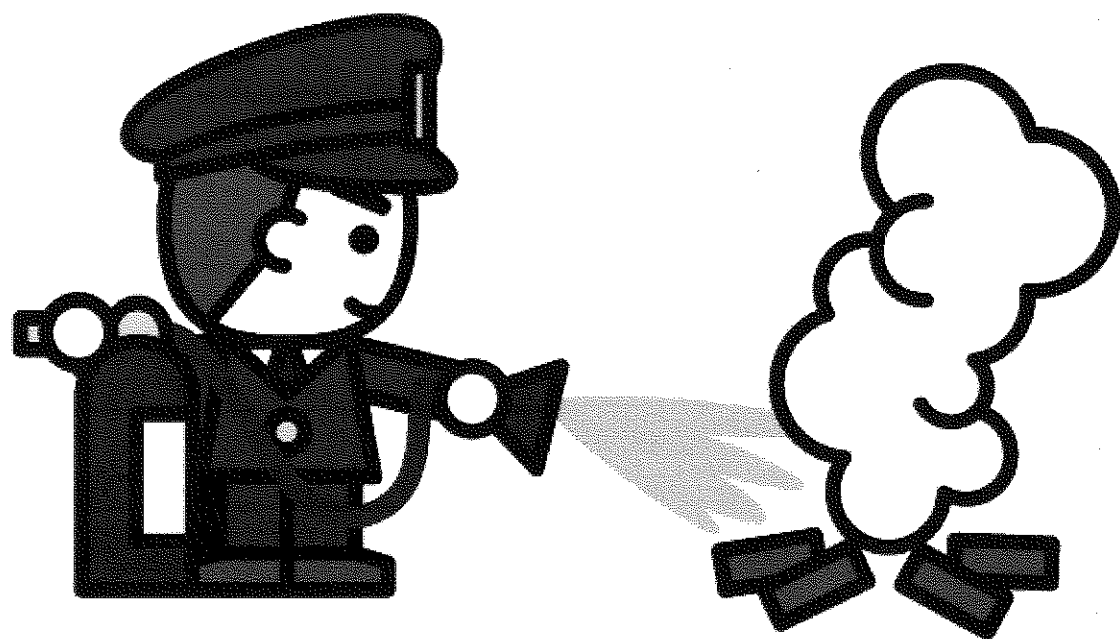
区分 年度	受講者数(人)			
	総数	甲種(新)	乙種	甲種(再)
平成21年度	89	67	14	8
平成22年度	84	49	13	22
平成23年度	98	70	16	12
平成24年度	70	54	6	10
平成25年度	72	55	3	14
平成26年度	75	51	16	8
平成27年度	84	59	6	19
平成28年度	69	41	10	18
平成29年度	58	42	5	11
平成30年度	72	40	8	24
令和元年度	40	37	3	※中止
令和2年度	78	57	3	18

※ 講習回数は、年間各1回開催

45表 広報活動状況

区 分		活動時間(時間)	活動人員(人)
総 数		268	588
網走	小 計	207	533
	火災予防キャンペーン	8	48
	火災予防運動(春・秋・歳末)	171	447
	住宅用火災警報器設置促進	13	20
	防火の日	10	12
	119番の日	5	6
大空	小 計	59	33
	火災予防運動(春・秋・歳末)	59	33

自主防災組織



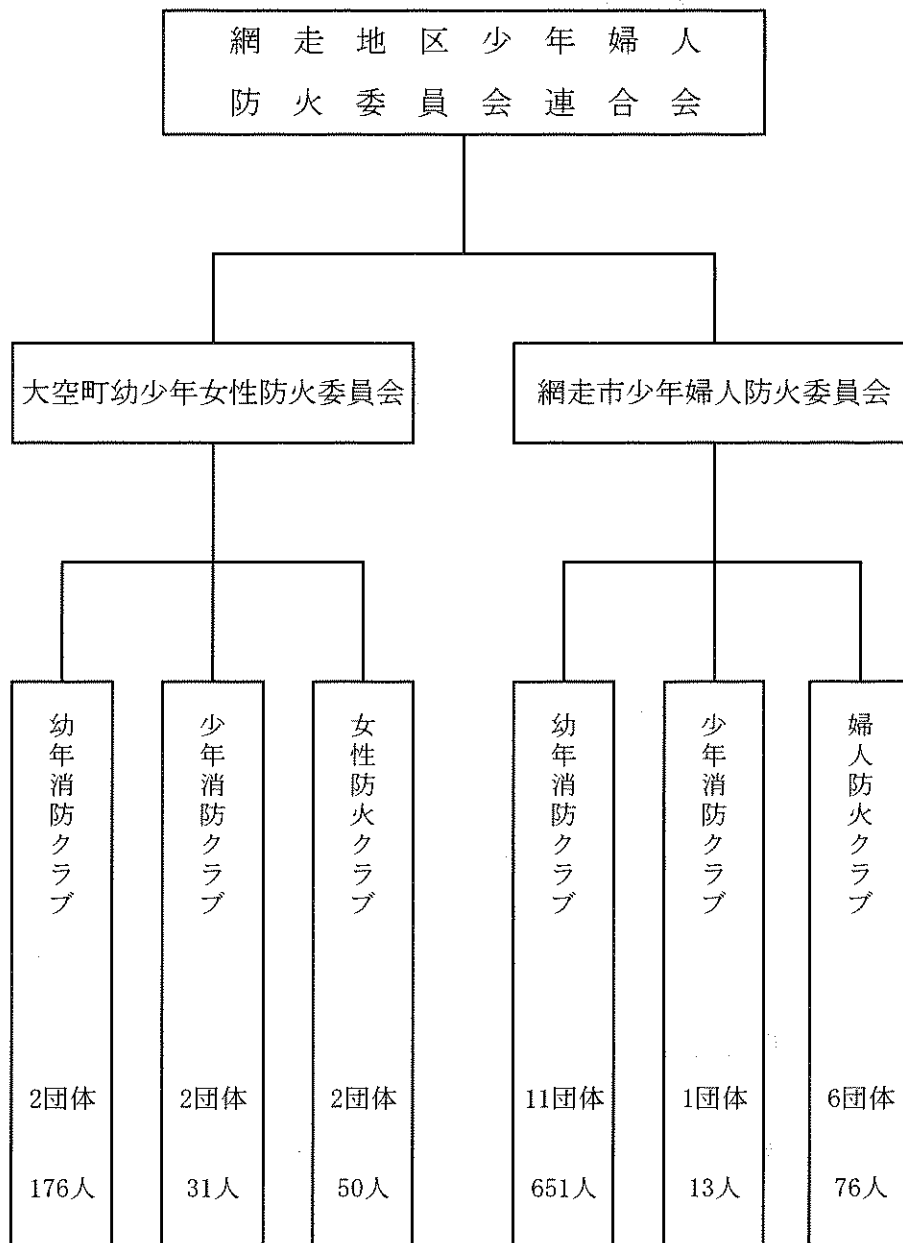
沿 革

網走地区の自主防災組織の発足は、昭和55年12月に網走市において婦人防火クラブ2団体、少年消防クラブ4団体の結成と同時に網走市少年婦人防火委員会が設立されたものです。

現在では、幼年消防クラブ13団体827名、少年消防クラブ3団体44名、婦人(女性)防火クラブ8団体126名、合計997名となり管内人口の2.4%を占めています。

自主防災組織図

(令和3年4月1日現在)



46表 婦人(女性)防火クラブの結成状況

地域別	名 称	クラブ員数(人)	結成年月日
網走(6)	網走婦人防火クラブ	43	昭和56年11月7日
	卯原内婦人防火クラブ	6	昭和55年12月10日
	西網走漁協婦人防火クラブ	8	昭和59年3月5日
	藻琴婦人防火クラブ	6	昭和59年8月24日
	能取婦人防火クラブ	12	昭和59年10月30日
	浦士別婦人防火クラブ	1	平成18年1月25日
大空(2)	女満別女性防火クラブ	33	平成9年9月9日
	東藻琴女性防火クラブ	17	平成2年4月11日
総 数		126	

()内の数字:クラブ数

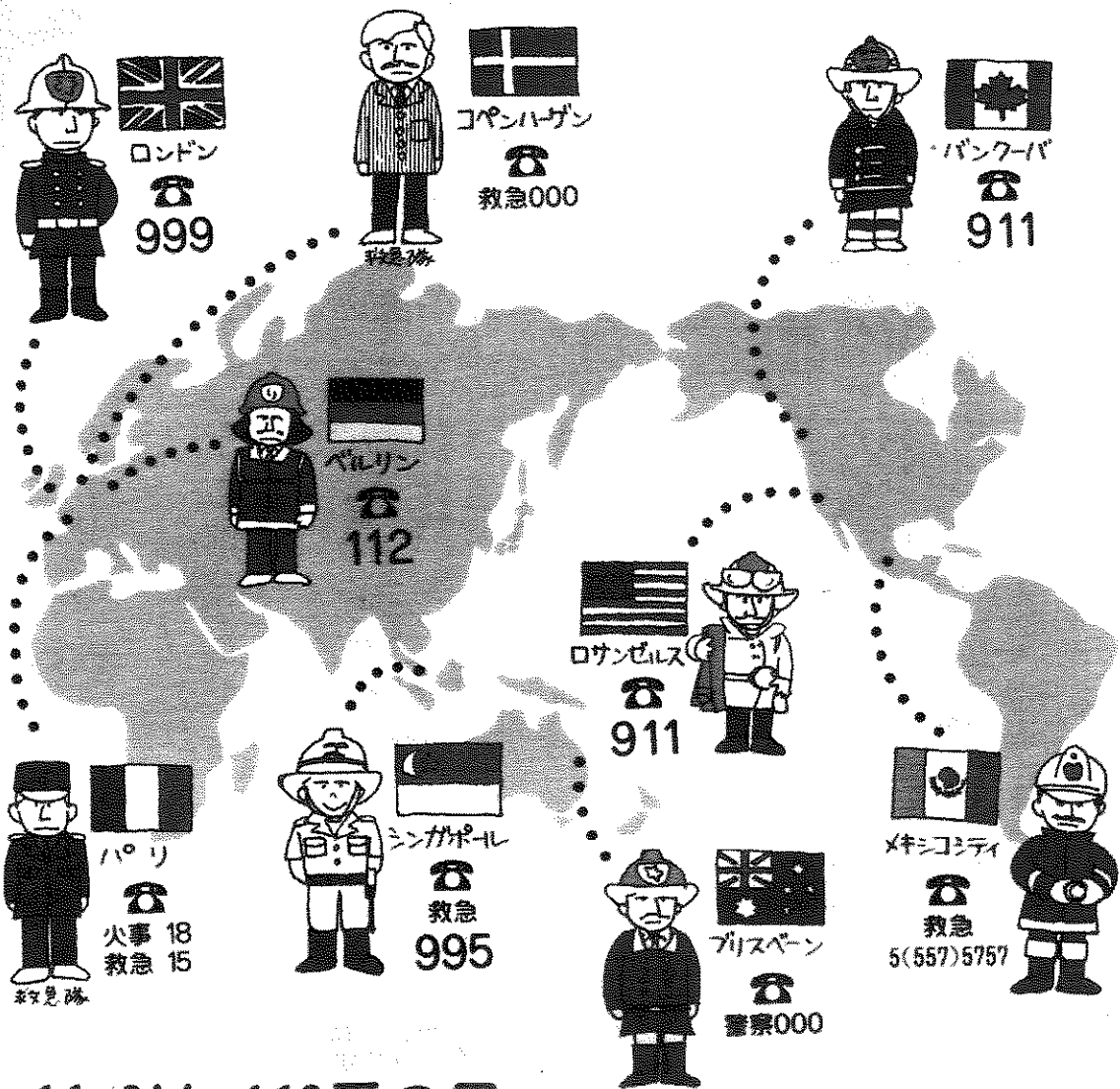
47表 少年・幼年消防クラブの結成状況

区分	地域別	名 称	クラブ員数(人)	結成年月日
少年(3)	網走(1)	網走少年消防クラブ	13	昭和55年12月10日
	大空(2)	女満別少年消防クラブ	18	昭和58年12月10日
		東藻琴少年消防クラブ	13	昭和57年11月29日
	少年総数		44	
幼年(13)	網走(11)	桂幼稚園幼年消防クラブ	52	昭和58年10月1日
		認定こども園しおみ幼年消防クラブ	115	昭和58年10月1日
		認定こども園つくし幼年消防クラブ	109	昭和58年10月1日
		いせの里保育園幼年消防クラブ	127	平成31年4月1日
		網走幼稚園幼年消防クラブ	55	昭和58年10月1日
		若葉幼稚園幼年消防クラブ	73	昭和58年10月1日
		ひまわり保育園幼年消防クラブ	60	昭和59年2月1日
		浦士別保育園幼年消防クラブ	10	昭和60年6月1日
		藻琴保育園幼年消防クラブ	25	昭和60年7月26日
		呼人いずみ保育園幼年消防クラブ	4	昭和61年5月20日
		さんごそう保育園幼年消防クラブ	21	平成8年8月23日
	大空(2)	女満別幼年消防クラブ	117	昭和58年12月10日
		東藻琴幼年消防クラブ	59	昭和58年10月1日
	幼年総数		827	

()内の数字:クラブ数

通信施設

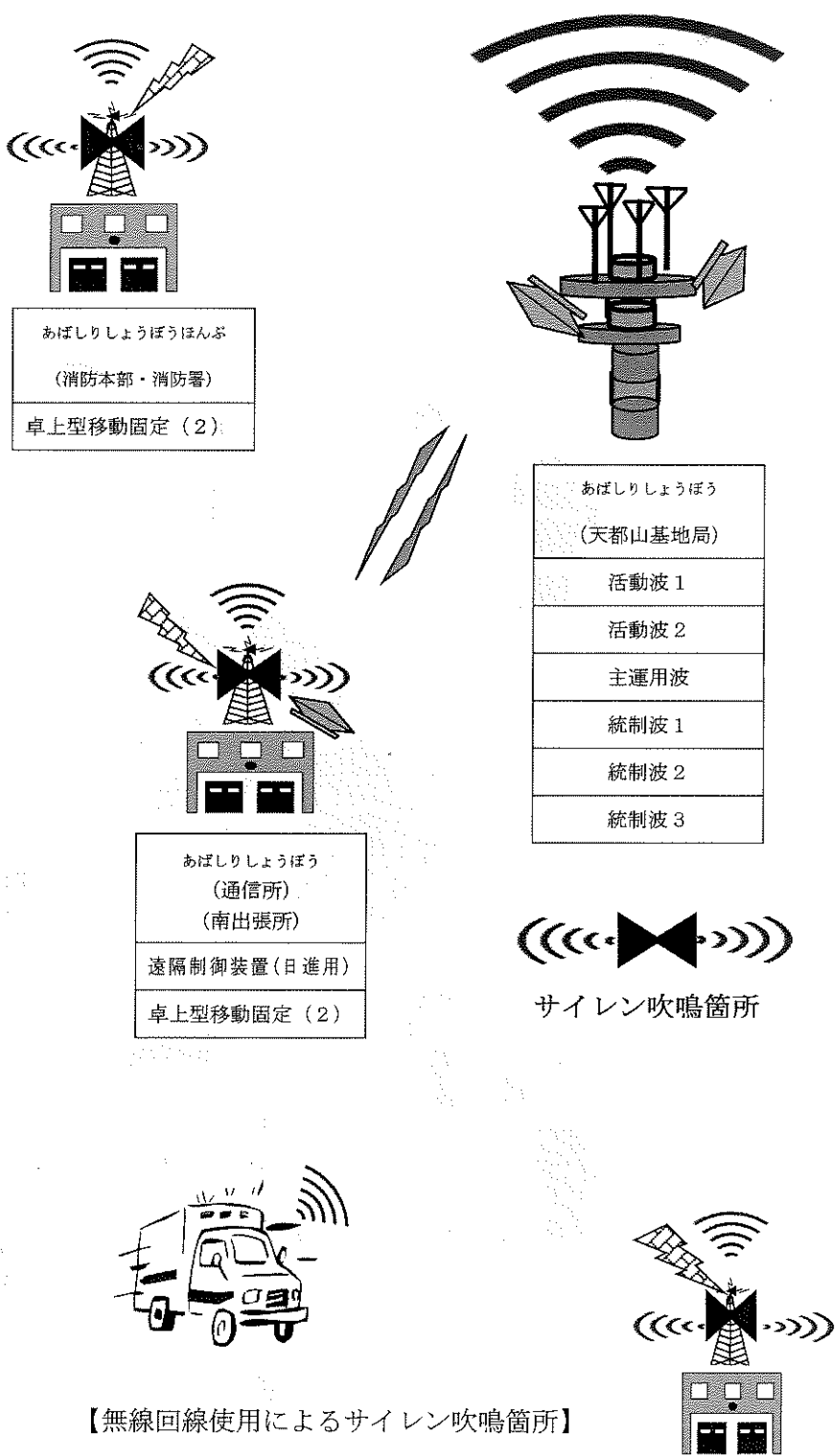




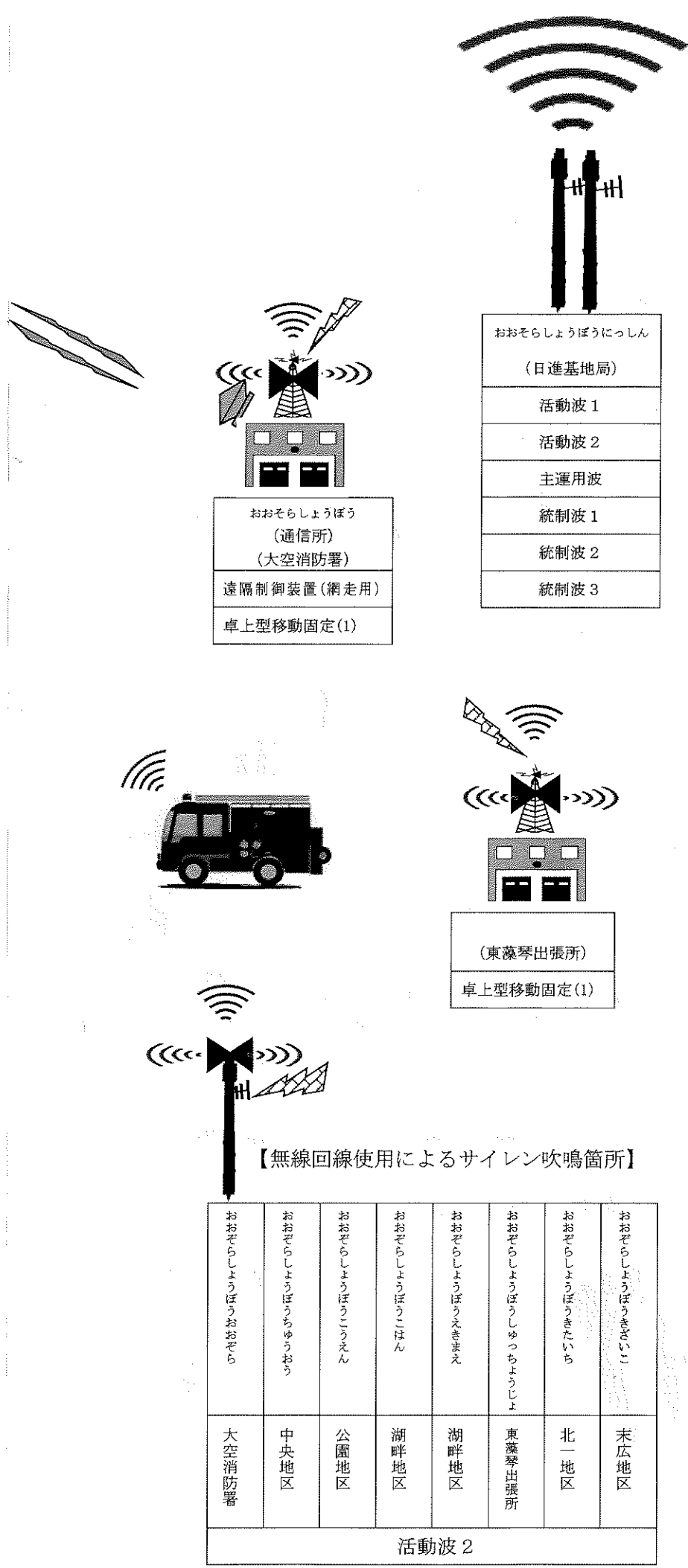
11/9は 119番の日

消 防 救 急 デ ジ タ ル 無 線 系 統 図

呼出名称	車 両 別	出力
網走指揮 1	指揮広報 1 号車	10W
〃 2	指揮広報 2 号車	〃
網走タンク 1	タンク 1 号車	〃
〃 2	〃 2 号車	〃
〃 3	〃 3 号車	〃
〃 4	〃 4 号車	〃
網走水槽 1	水槽 1 号車	〃
網走化学 1	化学 1 号車	〃
網走梯子 1	はしご 1 号車	〃
網走救助 1	救助工作 1 号車	〃
網走災対 1	災害対応多目的車	〃
網走 1	資機材搬送 1 号車	〃
〃 2	防火広報 1 号車	〃
〃 5	資機材搬送 2 号車	〃
網走救急 1	救急 1 号車	〃
〃 2	〃 2 号車	〃
〃 3	〃 3 号車	〃
〃 4	普及促進号	〃
網走ポンプ 1	第 1 分団 1 号車	〃
〃 2	第 1 分団 2 号車	〃
網走資機材 1	第 1 分団 3 号車	〃
網走指揮 3	指揮広報 3 号車	〃
卯原内 1	第 2 分団ポンプ車	〃
嘉多山 1	第 2 分団嘉多山積載	〃
能取 1	第 2 分団能取積載	〃
北浜 1	第 3 分団ポンプ車	〃
呼人 1	第 4 分団ポンプ車	〃
藻琴 1	第 5 分団付積載車	〃
浦士別 1	第 6 分団付積載車	〃
網走警防 1	携帯 1 号	5W
〃 2	〃 2 号	〃
〃 3	〃 3 号	〃
〃 4	〃 4 号	〃
〃 5	〃 5 号	〃
〃 6	〃 6 号	〃
〃 7	〃 7 号	〃
網走指揮本部 1	〃 8 号	〃
網走警防本部	可搬（本署配備）	10W
網走可搬 1	卓上型移動固定（本署）	〃
〃 2	〃（本署）	〃
〃 3	〃（南出張所）	〃
〃 4	〃（南出張所）	〃



うらし(つしょうぼう	もことしょうぼう	よびとしょうぼう	だいにびとしょうぼう	きたはましょうぼう	うばらないしょうぼう	だいにうばらないしょうぼう	のとりにしょうぼう	かたやましょうぼう	あばしりしやくしよ	あばしりしょうぼうほんぶ
(第6分団)	(第5分団)	(第4分団)	(第3分団)	(第2分団)	(第1分団)					
活動波 1										

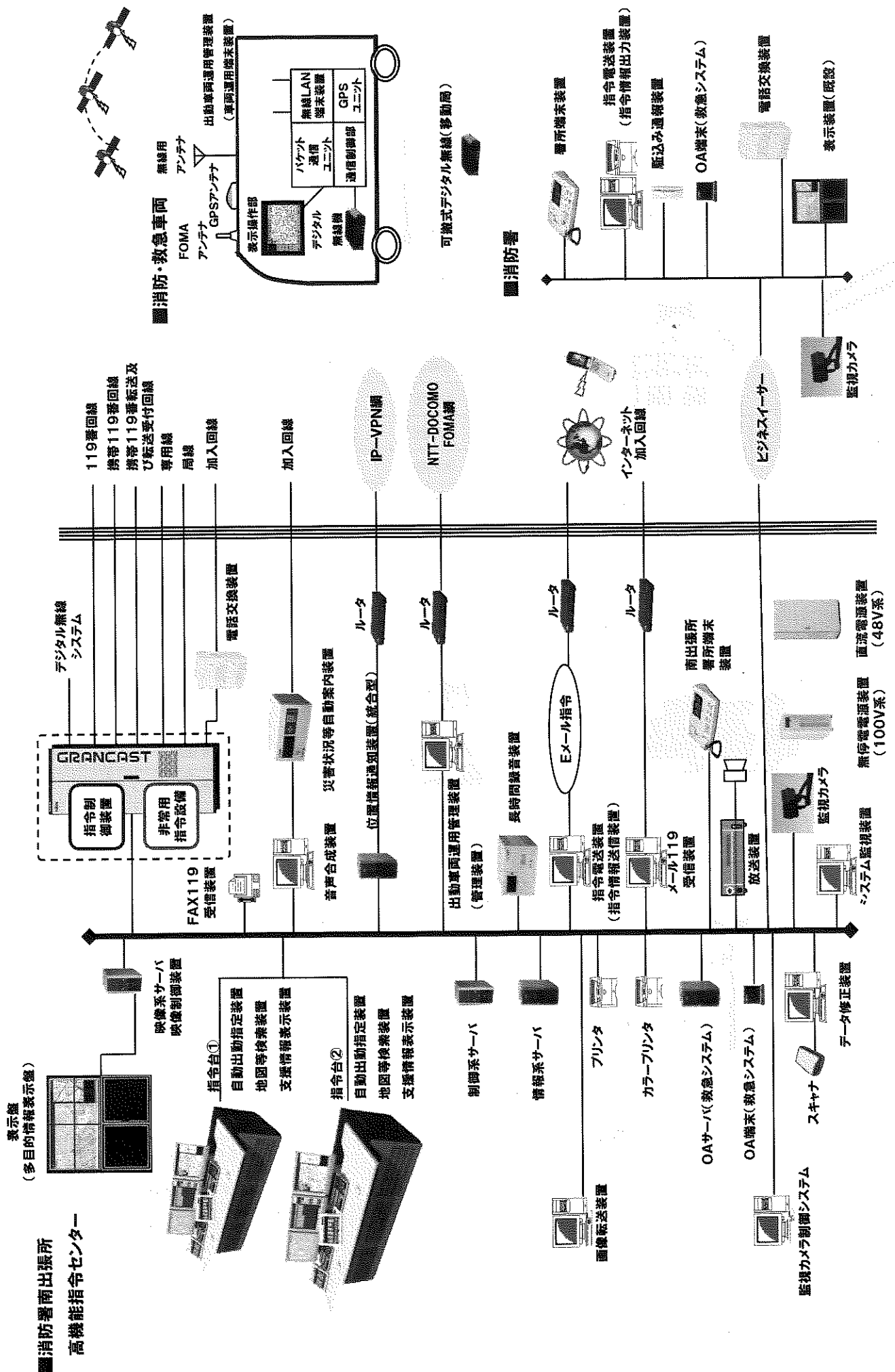


おおそらしょうぼうおおそら	おおそらしょうぼうちゅうおう	おおそらしょうぼうこうえん	おおそらしょうぼうこはん	おおそらしょうぼうえきまえ	おおそらしょうぼうちゅうじよ	おおそらしょうぼうきたいち	おおそらしょうぼうきさいこ
大空消防署	中央地区	公園地区	湖畔地区	湖畔地区	東藻琴出張所	北一地区	末広地区
活動波 2							

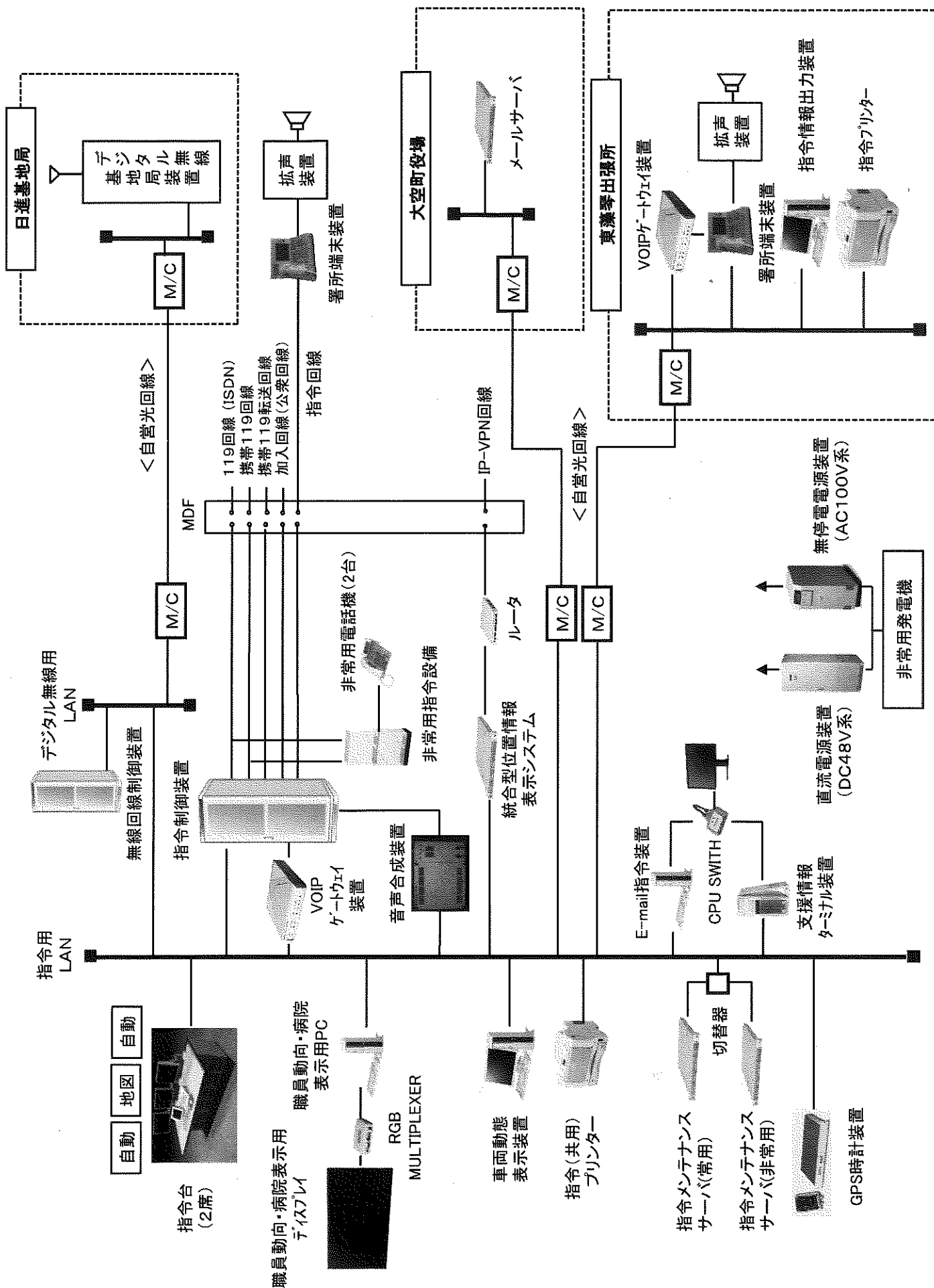
呼出名称	車 両 別	出力
大空指揮 1	指揮広報車	5W
大空タンク 1	3 部車	〃
〃 2	2 部車	〃
大空水槽 1	4 部車	〃
大空ポンプ 1	1 部車	〃
大空積載 1	積載車	〃
大空化学 1	化学車	〃
大空救急 1	救急 1 号車	〃
〃 2	〃 2 号車	〃
大空携帯 1	携帯 1 号	1W
〃 2	〃 2 号	〃
〃 3	〃 3 号	〃
大空タンク携帯 1	3 部車携帯	〃
〃 2	2 部車携帯	〃
大空水槽携帯 1	4 部車携帯	〃
大空ポンプ携帯 1	1 部車携帯	〃
大空化学携帯 1	化学車携帯	〃
大空救急携帯 1	救急車携帯	〃
大空災害対策	卓上固定移動局	5W

呼出名称	車 両 別	出力
大空東指揮 1	指揮広報車	5W
大空東タンク 1	1 号車	〃
〃 2	3 号車	〃
大空東水槽 1	2 号車	〃
大空東ポンプ 1	4 号車	〃
大空東積載 1	5 号車	〃
大空東救急 1	救急車	〃
大空東携帯 1	携帯 1 号	1W
〃 2	〃 2 号	〃
大空東救急携帯 1	救急車携帯	〃
大空東タンク携帯 1	1 号車携帯	〃
〃 2	3 号車携帯	〃
大空東水槽携帯 1	2 号車携帯	〃
大空東ポンプ携帯 1	4 号車携帯	〃
大空東災害対策	卓上固定移動局	5W

網走地区消防組合 網走消防署 高機能消防緊急通信指令システム構成図



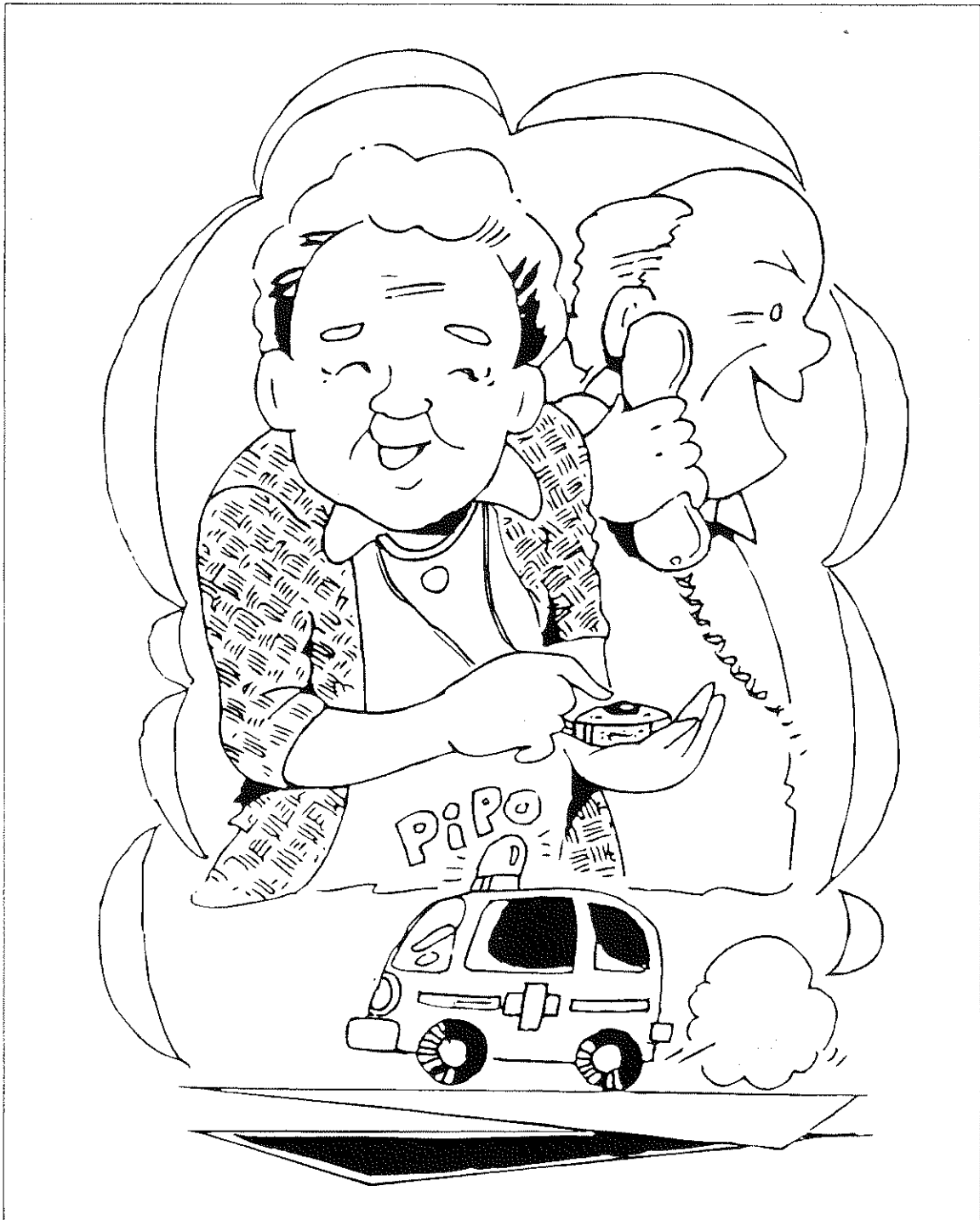
網走地区消防組合 大空消防署 高機能消防緊急通信指令システム構成図



ひとり暮らしのお年寄りの安心を支える

網走市緊急通報システム

(ふれあいコール)



緊急通報システムの概要

網走市では、ひとり暮らしのお年寄りの方々が安心して生活できるように急病、事故、あるいは火災などの「もしも……」のとき電話機内蔵の通報装置で外部に自動的に連絡できるシステムを平成2年10月から運用開始しました。

24時間体制でお年寄りの方々の緊急時に備えるため、緊急通報は、消防署通信指令室に設置されたセンター機器に通報され、消防では通報者と応答した後、救急車、消防車の出動を指令します。

また、緊急時は近隣の「協力員」への連絡で看護等を受けられる体制も整っています。

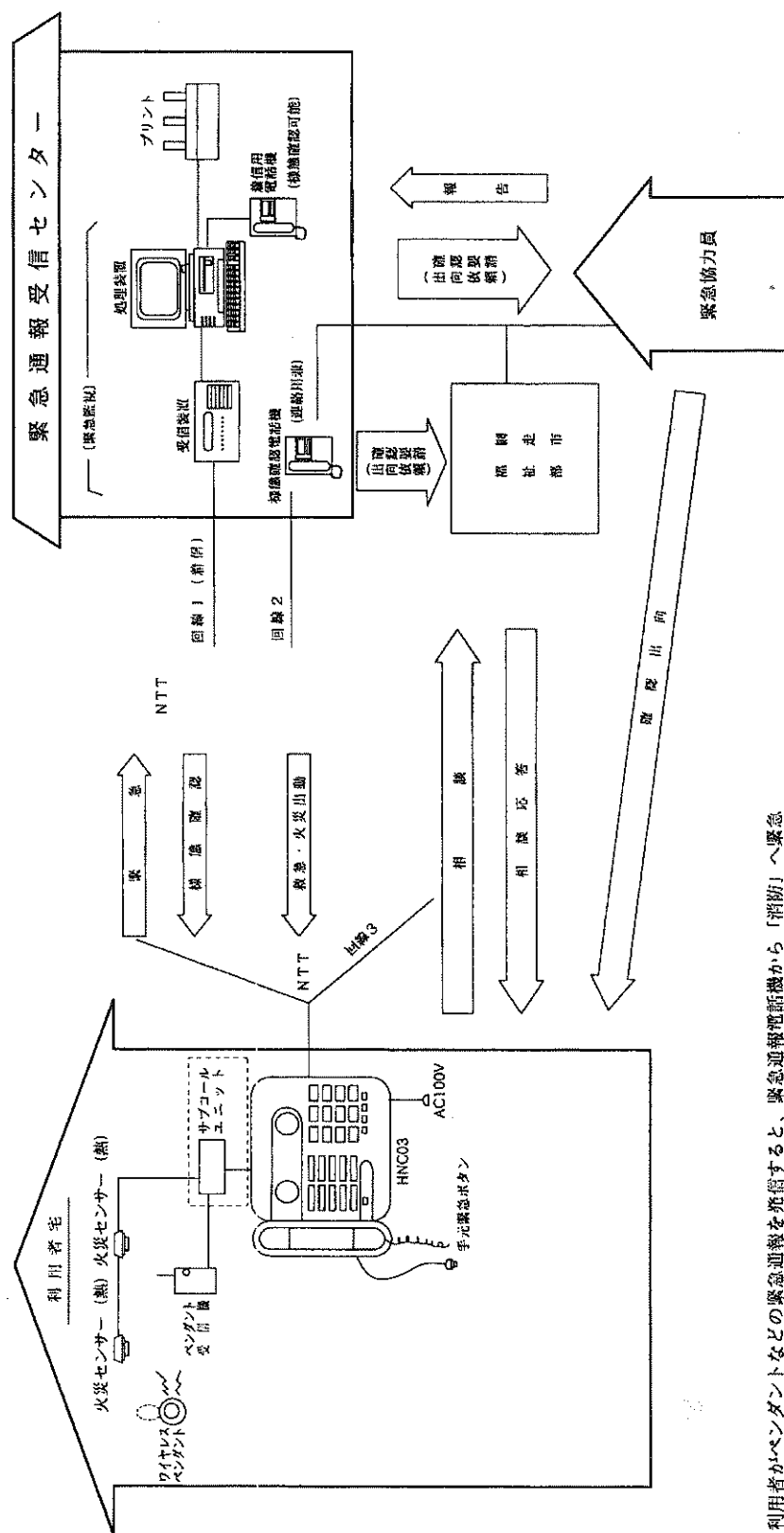
一方、日常生活の相談ごとにも通報装置の相談ボタンを押すだけで自動的に「網走市健康福祉部」へ通報され相談ごとができるようになっています。

1. 利用できる人

- ① 独居高齢者で、身体病弱のため緊急事態に機敏に行動することが困難な人
- ② ねたきり又はこれに準ずると認める者を抱える高齢者のみの世帯
- ③ 独居の重度身体障害者で、緊急事態に機敏に行動することが困難な人
- ④ その他必要があると認められるもの

2. 緊急時の協力員

利用者の近隣に居住する友人、知人、民生委員、町内会の人



1. 利用者がペンダントなどの緊急通報を発信すると、緊急通報電話機から「消防」へ緊急事態を自動的に通報します。火災のときも同じです。
2. 通報を受けた「消防」は、発信者とお互いに応答をして、状況の確認を行います。
3. 発信者からの応答がなく、緊急事態が予想されるときは、救急車や消防車を出動させてひとり暮らしのお年寄りを助けます。
4. 「消防」は、緊急事態が予想されるときは「緊急協力員」に安否確認のための出向を要請することがあります。

5. 「緊急協力員」は、要請によりひとり暮らしのお年寄りの家へ急行して、安否の確認や援助にあたります。
6. 「緊急協力員」は、結果を「消防」へ報告します。
7. 相談ことは、緊急通報電話機で自動的に「福祉部」へつながります。
8. 「福祉部」は、ひとり暮らしのお年寄とお互いに応答して、相談にあたります。

48表 緊急通報システム受信状況

月 区 分		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計	活 動 件 数	課 等 へ 通 報 う ち 市 福 祉
受 理 件 数		13	14	16	14	23	15	12	11	14	16	30	18	196	66	67
出 動	火災・真報															
	救急・真報	5	3	2	8	4	6	3	2	3	5	2	7	50	50	50
	火災・誤報										1			1	1	1
	救急・誤報	1	1	1		4		2	1			1	2	13	13	13
	その他・真報															
	その他・誤報		1			1								2	2	2
	小 計	6	5	3	8	9	6	5	3	3	6	3	9	66	66	66
未 出 場 (誤 報)	火 災															
	救 急															
	停 電	2	5	10	1	8	5	3	3	6	2	14	7	66		
	間違い	4	4	3	4	5	4	4	5	5	7	13	2	60		
	その他	1			1	1					1			4		
	小 計	7	9	13	6	14	9	7	8	11	10	27	9	130		